

NEC プロジェクター

ViewLight[®]
ビューライト

NP-P506QLJD

取扱説明書 [詳細版]

本機を安全にお使いいただくために
ご使用前に必ずお読みください

取扱説明書の最新版は、当社ホームページに掲載しています。

<https://www.sharp-nec-displays.com/dl/jp/pj/manual/lineup.html>

目次

はじめに	4
本機を安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください	5
本書の表記について	20
1. 製品概要、添付品、名称を確認する	21
1-1. 特長	21
1-2. 添付品の確認	23
1-3. 本体各部の名称	24
1-4. リモコン各部の名称	30
2. 映像を投写する（基本操作）	35
2-1. 映像を投写する流れ	35
2-2. コンピューターと接続する／電源コードを接続する	36
2-3. 本機の電源を入れる	38
2-4. 入力信号を選択する	40
2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する	42
2-6. 台形歪みを調整する（台形補正）	47
2-7. 本機の音量を調整する	48
2-8. 本機の電源を切る	49
2-9. 移動するときは	50
3. オンスクリーンメニュー	51
3-1. オンスクリーンメニューの基本操作	51
3-2. オンスクリーンメニュー一覧	54
3-3. 入力	57
3-4. 調整	59
3-5. 表示	63
3-6. ネットワーク	66
3-7. セットアップ	67
3-8. 情報	70

4. 機器と接続する	71
4-1. 外部機器と接続する	71
5. 有線 LAN と接続する	74
5-1. 有線 LAN と接続する	74
5-2. HTTP サーバー機能	75
6. 本体のお手入れ	77
6-1. レンズの清掃	77
6-2. キャビネットの清掃	78
7. 付 録	79
7-1. 投写距離とスクリーンサイズ	79
7-2. 対応解像度一覧	84
7-3. 仕様	87
7-4. 外観図	90
7-5. ポートレート（縦向き）投写について	92
7-6. インジケータ表示一覧	94
7-7. 故障かな？と思ったら	96
7-8. 主な端子のピン配列と信号名	101
7-9. トラブルチェックシート	103
7-10. 別売品	105
保証と修理サービス（必ずお読みください）	106
NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター	裏表紙

はじめに

このたびは、NEC プロジェクター（以降「本機」または「プロジェクター」と呼びます）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本機は、コンピューターやDVDプレーヤーなどに接続して、文字や映像をスクリーンに鮮明に投写するプロジェクターです。

本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用前に、この取扱説明書（本書）をよくお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや故障ではないかと思ったときにお読みください。

本製品には「保証書」を添付しています。保証書は、お買い上げの販売店から必ずお受け取りのうえ、取扱説明書とともに、大切に保存してください。

本機は、日本国内向けモデルです。

● 本書で説明している機種名

NP-P506QLJD

● 機種名について

本機に貼付している銘版では、機種名を「NP-P506QL」と表記しています。

取扱説明書では、機種名に「JD」を付けて表記しています。

[注意]

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしました。万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

© NEC Display Solutions, Ltd. 2020

2021年8月 2版
シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例

	▲記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告



必ず行う

プロジェクターは日本国内専用です

- このプロジェクターは、交流 100 ボルトで使用してください。添付の電源コードは国内使用専用です。



禁止

電源コードの取り扱い

- このプロジェクターに添付している電源コードは、このプロジェクター専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。



感電注意

- 電源コードは大切に取扱ってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。

- 添付されているもの以外の電源コードは使用しない
- コードの上に重い物をのせない
- コードをプロジェクターの下敷きにしな
- コードの上を敷物などで覆わない
- コードを傷つけない、加工しない
- コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- コードを加熱しない

電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。

- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。



必ず行う

プロジェクターの設置

- このプロジェクターは、交流 100 ボルト、50/60Hz の電源で使用するように設計されています。プロジェクターを使用する前に、プロジェクターを接続する電源が要求を満たすものかを確認してください。
- プロジェクターの電源はコンセントを使用してください。直接電灯線に接続することは危険ですで行わないでください。
- 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
 - ・ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
 - ・暖房の近くや振動の多い所
 - ・屋外および湿気やほこりの多い場所
 - ・油煙や湯気の当たるような場所
 - ・調理台や加湿器のそば
- 次のような水にぬれるおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクターの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。
 - ・雨天や降雪時、海岸や水辺で使用しない
 - ・風呂やシャワー室で使用しない
 - ・プロジェクターの上に花びん、植木鉢を置かない
 - ・プロジェクターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない万一プロジェクターの内部に水などがに入った場合は、まずプロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに連絡してください。
- プロジェクターの通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭では注意してください。万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まずプロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに連絡してください。



禁止



水ぬれ禁止



プラグを抜く

故障したときは電源プラグを抜く

- プロジェクターから煙が出ている、変なにおいがする、変な音がる場合や、プロジェクターを落としたりキャビネットを破損した場合は、プロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となるだけではなく、視力障害ややけどの原因になります。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



プラグを抜く

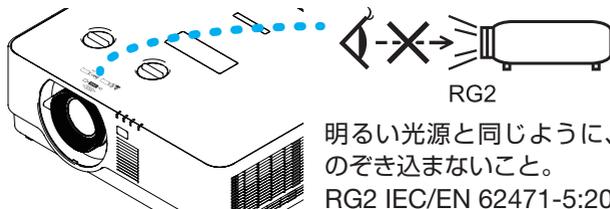
 <p>分解禁止</p>	<h3>プロジェクターの分解禁止</h3> <ul style="list-style-type: none">● プロジェクターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。 また改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電およびレーザー光がもれることによる視力障害ややけどの原因となります。 内部の点検・調整・修理は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ依頼してください。
 <p>注意</p>	<h3>天吊り設置</h3> <ul style="list-style-type: none">● 天吊りなどの特別な工事が必要な設置については販売店に相談してください。 お客様による設置は絶対にやめてください。落下してけがの原因となります。 プロジェクターの天吊りは、プロジェクターを吊り下げるために十分な強度を必要とし、さらに国の建築基準法に従わなくてはなりません。 また、プロジェクター本体や天井用取付けユニットおよび取り付け場所に不具合が発生した場合を想定して、落下防止の対応が必要です。● 天吊りなどの設置をしたときは、プロジェクターにぶらさがらないでください。落下してけがの原因となります。● 天吊り設置のときは電源プラグを抜き差しできるように手の届くコンセントを使用してください。
 <p>禁止</p>  <p>高温注意</p>	<h3>プロジェクターの動作中にレンズの前に物を置かない</h3> <ul style="list-style-type: none">● 動作中にレンズにレンズキャップをしないでください。レンズキャップが高温になり変形します。● 動作中にレンズの前に物を置いて光をさえぎらないでください。物が高温になり、破損や火災の原因となります。● 上記を警告するために、プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。 



禁止

プロジェクターの光源について

- プロジェクターのレンズをのぞかないでください。
動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。
特にお子様には注意してください。
- 投写光を、光学機器（ルーペや反射鏡など）を使ってのぞかないでください。視力障害の原因になります。
- プロジェクターの電源を入れる際は、投写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。
- お子様一人でプロジェクターを操作させないでください。お子様が操作する場合は、必ず大人が付き添い、お子様から目を離さないでください。
- レンズの上のプロジェクター上面に、次の図記号を表示しています。
この図記号は、このプロジェクターが IEC/EN 62471-5:2015 規格でリスクグループ 2 に分類されていることを示しています。



禁止

プロジェクターの清掃時

- レンズやキャビネットなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。

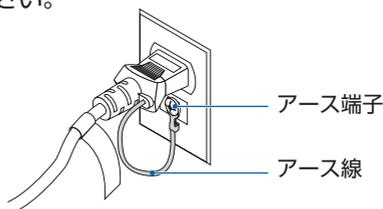
⚠ 注意



必ず行う

機器のアース線はコンセントのアース端子に確実に接続する

- 本機は電源コードのアース線を大地アースに接続することを前提に設計されているアース線つき 2 芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードのアース線を、コンセントのアース端子に確実に接続してご使用ください。アースに接続しないと感電するおそれがあります。
- アース工事は専門業者にご依頼ください。
- アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アース線を外す場合は、必ず電源コンセントから抜いてから行ってください。



必ず行う

電源コードの取り扱い

- プロジェクターの AC IN 端子に電源コードを接続する際は、コネクタを奥までしっかり差し込んでください。電源コードの接続が緩むと、火災・感電の原因となるおそれがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- プロジェクターをお手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- プロジェクターを移動する場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外したことを確認のうえ、行ってください。
- 長期間、プロジェクターを使用しないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



ぬれた手でさわらない



プラグを抜く



禁止

過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない

- プロジェクターの Ethernet/HDBaseT ポートおよび LAN ポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。Ethernet/HDBaseT ポートおよび LAN ポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。

 <p>必ず行う</p>	<h3>レンズシフト、フォーカス、ズームの操作</h3> <ul style="list-style-type: none">● レンズシフト、フォーカス、ズームの調整はプロジェクターの後ろまたは横から行ってください。前面で調整すると強い光が目に入り、視力障害の原因となります。● レンズシフト動作中は、レンズの周囲に手を近づけないでください。キャビネットとレンズの隙間に指を挟むおそれがあります。
 <p>禁止</p>	<h3>電池の取り扱い</h3> <ul style="list-style-type: none">● 電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。<ul style="list-style-type: none">• 電池をショート、分解、火に入れたりしない。• 指定以外の電池は使用しない。• 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。• 電池を入れるときは、極性（+と-の向き）に注意し、表示どおりに入れる。● 電池を廃棄する際は、販売店、または自治体に問い合わせてください。
 <p>禁止</p>  <p>高温注意</p>	<h3>通風口について</h3> <ul style="list-style-type: none">● プロジェクターの通風口をふさがないでください。またプロジェクターの下に紙や布などのやわらかい物を置かないでください。火災の原因となることがあります。 プロジェクターを設置する場所は周囲から適当な空間（目安として吸気口は 50cm 以上、排気口も 50cm 以上あけてください。● 投写中および投写終了直後は、排気口付近をさわらないでください。排気口付近が高温になる場合があります、やけどの原因となることがあります。
 <p>禁止</p>	<h3>プロジェクターの持ち運び</h3> <ul style="list-style-type: none">● プロジェクターを持ち運ぶときに、レンズ部分に手をかけないでください。フォーカスリングが回転し、プロジェクターが落下してけがの原因となることがあります。 また、キャビネットとレンズの隙間に手をかけると、プロジェクターが破損して落下し、けがの原因となることがあります。
 <p>必ず行う</p>	<h3>プロジェクターの点検・本体内部の清掃</h3> <ul style="list-style-type: none">● 1年に一度くらいは内部の清掃を NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。プロジェクターの内部にほこりがたまったまま、長い間清掃をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の清掃費用につきましては NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。



必ず行う

3D 映像を視聴する際の健康に関するご注意

- 健康に関する注意事項は、3D 映像のソフト（ブルーレイ、ゲーム、コンピューターの動画ファイルなど）および 3D メガネに添付されている取扱説明書に記載されている場合がありますので、必ず視聴する前にご確認ください。
- 健康への悪影響を避けるため、次の点に注意してください。
 - 3D 映像を視聴する以外の目的で、3D メガネを使用しないでください。
 - スクリーンから 2m 以上離れて視聴してください。スクリーンに近い距離で視聴すると目への負担が増加します。
 - 長時間連続して視聴しないでください。1 時間視聴したら、15 分以上休憩を取ってください。
 - 本人または家族の中で光感受性発作を起こしたことがあるかたは、視聴する前に医師に相談してください。
 - 視聴中に身体に異常（吐き気、めまい、むかつき、頭痛、目の痛み、視界のぼけ、手足のけいれん、しびれなど）を感じたときは、すぐに視聴を中止し安静にしてください。しばらくしても異常が治らない場合は医師に相談してください。
- 3D 映像はスクリーンの正面から視聴してください。3D 映像を斜めから視聴すると、疲労や眼精疲労を起こす原因となることがあります。

レーザー光線の安全に関する注意事項

クラス1 レーザー製品



警告

- 本製品は、JIS C 6802:2014 規格と IEC 60825-1:2014 規格でクラス1 に分類されています。
また IEC/EN 62471-5:2015 規格ではリスクグループ 2 に分類されています。
- 本製品にはレーザーモジュールが内蔵されています。本書に記載した以外の手順による制御及び調整は、危険なレーザー放射の露光に結びつくことがあります。

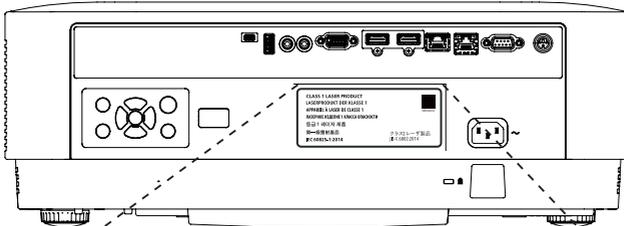
【内蔵されたレーザーの概要】

- 波長：450 - 460 nm
- 最大出力：170 W

【保護筐体から放出される放射パターン】

- 波長：450 - 460 nm
- 最大レーザー放射出力：32 mW

レーザー製品の説明ラベルは、プロジェクター本体の背面に貼付されています。

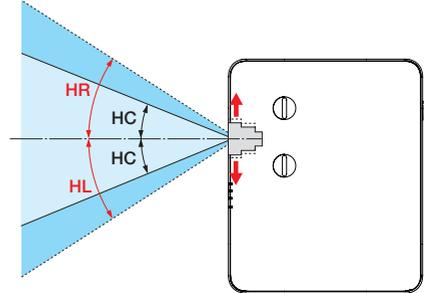


レーザー光の放射範囲

下図は、レーザー光の最大の放射範囲を表しています。

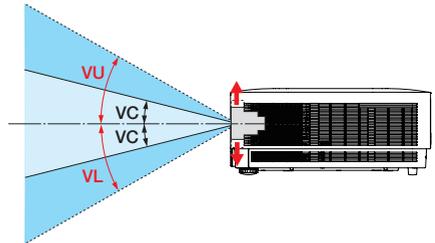
水平放射角：H（単位：度）

ズーム	レンズの位置		
	右端	センター (参考値)	左端
	HR	HC	HL
ワイド	32.3	24.3	32.3
テレ	22.7	16.6	22.7



垂直放射角：V（単位：度）

ズーム	レンズの位置		
	上端	センター (参考値)	下端
	VU	VC	VL
ワイド	29.2	14.2	29.2
テレ	20.2	9.5	20.2



電波障害に関する注意事項

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI - B

プロジェクターに接続する信号ケーブルは、フェライトコア付きやシールドタイプを使用してください。

それ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。詳しくは、本書の「機器と接続する」をご覧ください。

廃棄について

プロジェクターを廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

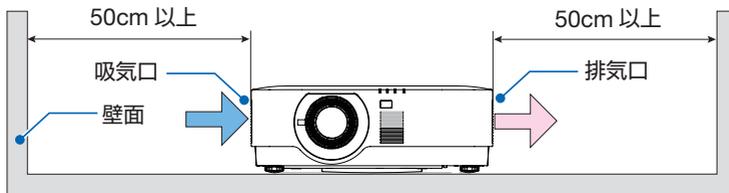
プロジェクターの性能確保のための注意事項

- 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。
動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、プロジェクターに振動や衝撃が加わって内部の部品が傷み、故障の原因となります。
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。
高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
- 次のような場所に設置したり、保管したりしないでください。故障の原因となります。
 - 強い磁界が発生する場所
 - 腐食性のガスが発生する場所
- レーザー光線のような強い光がレンズから入り込むと、故障の原因となります。
- たばこの煙・ほこりの多い場所で使用する場合、または長時間連続して（12時間／日または260日／年を超えて）使用する場合は、あらかじめNECプロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。
- 標高約1600m以上の場所でプロジェクターを使用する場合は、必ずファンモードを「高地」に設定してください。「高地」に設定していないと、プロジェクター内部が高温になり、故障の原因となります。
- プロジェクターを高所（気圧の低い所）で使用すると、光学部品（光源など）の交換時期が早まる場合があります。
- プロジェクターの持ち運びについて
 - レンズに傷が付かないように必ず添付のレンズキャップを取り付けてください。
 - プロジェクターに振動や強い衝撃を与えないでください。
プロジェクターの故障の原因となります。
- チルトフットはプロジェクターの傾き調整以外の用途には使用しないでください。
チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。
- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。
投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、投写レンズ面には手を触れないでください。
- 投写中は、プロジェクターやコンセントから電源コードを抜かないでください。プロジェクターのAC IN端子や電源プラグの接触部分が劣化するおそれがあります。投写中にAC電源を切断する場合は、テーブルタップのスイッチ、ブレーカーなどを利用してください。
- リモコンの取り扱いについて
 - プロジェクターのリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中に障害物があって信号がさえぎられていると動作しません。
 - プロジェクターから約7m以内でプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作してください。
 - リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。
 - リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。

- できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を2本とも取り出してください。
- スクリーンへの外光対策をしてください。
スクリーンには、照明などプロジェクター以外からの光が入らないようにしてください。外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて
ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。

設置する際の周囲との距離についての注意

プロジェクターを設置する際は、下記のように周囲に十分な空間を作ってください。プロジェクターから出た高温の排気が再びプロジェクターに吸気される場合があります。また、エアコンから吹き出された風がプロジェクターに当たらないようにしてください。プロジェクターの温度制御で異常（温度エラー）を感知して自動的に電源が切れることがあります。



[注意]

- 上の図において、プロジェクターの上方には十分な空間があるものとします。また、後方は、目安として10cm以上、ケーブル類の取り付け作業を行うにはさらに広い空間をあけてください。

天吊り設置の注意事項

次のような場所には設置しないでください。キャビネットに油や薬品、水分などが付着した場合、キャビネットの変形またはひび割れ、金属部分の腐食、落下、および故障の原因となります。

- 屋外および湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気の当たるような場所
- 腐食性のガスが発生する場所

投写する映像の著作権について

営利目的または公衆に視聴させることを目的として、プロジェクターを使って映像を投写する場合、プロジェクターの機能を使ってオリジナルの映像に対して投写範囲を小さくしたり変形したりすると、著作権法上で保護されている作者の権利を侵害するおそれがあります。

アスペクト、台形補正、部分拡大などの機能を使用する場合はご注意ください。

本機のパワーマネジメント機能についてのお知らせ

本機は、消費電力を抑えるため、工場出荷時に以下のパワーマネジメント機能 (1)、(2) を設定しています。本機を LAN やシリアルケーブルなどを經由して外部機器から制御する場合は、オンスクリーンメニューを表示して (1)、(2) の設定を変更してください。

- (1) スタンバイモード (工場出荷時の設定：ノーマル)
外部機器から制御する場合は「ネットワークスタンバイ」または「HDBaseT」に変更してください。(→ [68 ページ](#))
- (2) オートパワーオフ (工場出荷時の設定：0分 (オフ))
外部機器から制御する場合は「0分 (オフ)」に設定してください。(→ [68 ページ](#))

商標について

- ViewLight、ビューライトは、シャープ NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。
- Apple、Mac、MacBook、iMac は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Microsoft、Windows、PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。



- HDBaseT™ および HDBaseT Alliance ロゴは、HDBaseT Alliance の商標です。



- DLP® および DLP ロゴは、Texas Instruments の登録商標です。
- PJLink 及び PJLink ロゴは、一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の日本、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
- ブルーレイは、Blu-ray Disc Association の商標です。
- CRESTRON、CRESTRON ROOMVIEW は Crestron Electronics, Inc. の米国その他の国における登録商標または商標です。
- Ethernet は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

本製品に含まれる GPL/LGPL 等適用ソフトウェアのライセンスについて

本製品には GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL) その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、本製品添付 CD-ROM 内の「about GPL&LGPL」フォルダー内の readme.pdf をご参照ください。

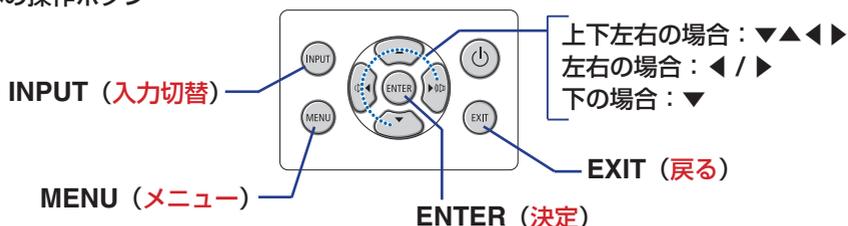
本書の表記について

マークの意味

[重要]	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。
[注意]	注意や制限事項を表しています。
[参考]	補足説明や役立つ情報を表しています。
→ 00 ページ	本書内の参照ページを表しています。

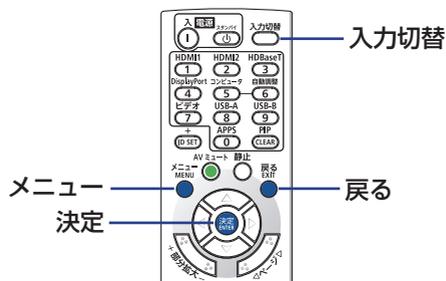
操作ボタンの表記例

●本体の操作ボタン



注意：本書では、本体の操作ボタンを日本語で表記していますので、読み換えてください。

●リモコンの操作ボタン



[参考]

- 本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

1. 製品概要、添付品、名称を確認する

1-1. 特長

■ 全般

- 1チップDLP方式の高輝度・高解像度プロジェクター
本機は、表示解像度 3840 ドット× 2160 ライン (4K UHD)、アスペクト比 16:9、明るさ 5,000lm を実現したプロジェクターです。
- 高い防塵性能を可能とした独自の密閉構造
防塵性能に優れているため、フィルターを搭載していません。フィルターの交換が不要です。
- 冷却最適設計により低騒音を実現
静かな会議室や教室でもファンノイズが気にならない静音設計です。

■ 光源・輝度

- 長寿命レーザー光源を採用
レーザー光源は長寿命のため、光源の交換や調整などのメンテナンスが長期間不要になり、ローコストオペレーションを実現します。
- 幅広い輝度調整が可能
ランプとは異なり、出力を30%から100%まで1%刻みで調整することができます。
- 輝度一定モード
通常は使用時間に応じて輝度(明るさ)が下がりますが、輝度一定モードを設定すると、工場出荷状態の明るさを基準にして、80%の明るさを一定に保つように制御します。

■ 設置

- 360°の設置、ポートレート投写が可能
本機は、垂直方向と水平方向 360°の、どの角度でも設置が可能です。
本機を傾けて設置する場合は、十分な強度のある金具を使用してください。
また、投写画面を 90°傾けたポートレート投写が行えます。必ず専用のスタンドを制作して設置してください。
- 投写画面の位置調整を容易にするレンズシフト機構を装備
投写画面の位置の移動は、本体の上面にある「垂直方向用」および「水平方向用」の2つのダイヤルを回して行います。

■ 映像

- HDMI 2 系統、HDBaseT などの豊富な入力端子
HDMI 2 系統、コンピューター (アナログ)、HDBaseT など、豊富な入力端子を装備しています。
本機の HDMI 入力端子は HDCP に対応しています。
HDBaseT は、HDBaseT Alliance によって策定された家電製品向けの接続規格です。

● HDMI 3D 方式に対応

本機は、市販の XPAND 製 3D 対応のアクティブシャッター方式の 3D メガネと 3D エミッターという装置を使って 3D 映像を視聴することができます。

また、DLP® Link 方式の 3D 映像にも対応しています。

■ ネットワーク

● 有線 LAN 対応

LAN ポート (RJ-45) を装備しており有線 LAN に接続してコンピューターから本機を制御できます。

● Crestron Roomview® に対応

本機は Crestron Roomview® に対応しています。コンピューターやコントローラーから、ネットワークに接続した複数の機器を管理・制御することができます。

■ 省エネ

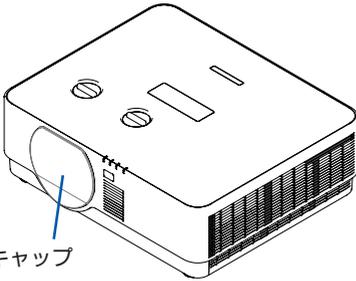
● スタンバイ時の消費電力が 0.5 ワットの省エネ設計

オンスクリーンメニューのスタンバイモードで「ノーマル」を設定すると、スタンバイ時の消費電力が 0.5 ワットになります。

ノーマル	スタンバイ時の消費電力が 0.5 ワットのモード
ネットワークスタンバイ	スタンバイ時の消費電力が 2.0 ワットのモード

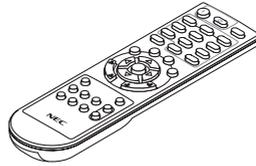
1-2. 添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。



レンズキャップ

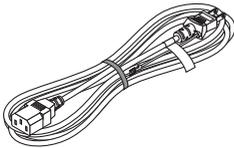
プロジェクター (本機)



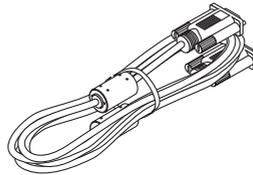
リモコン (7N901271)



単 4 乾電池
(リモコン用) 2 本



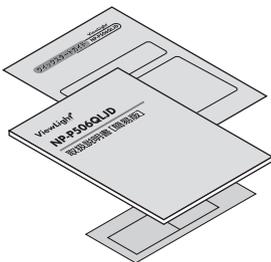
電源コード (アース付き)
(79TL0821)



コンピューターケーブル
(ミニ D-Sub15 ピン)
(79TL0841)



User's Manual CD-ROM
(7N953002)



クイックスタートガイド (7N8R0441)

取扱説明書 [簡易版] (7N8R0432)

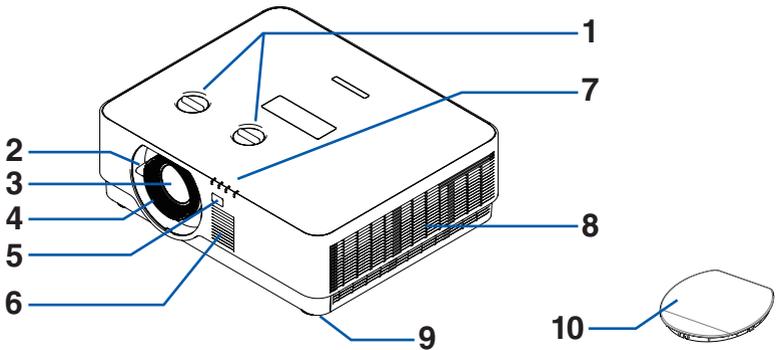
保証書

[参考]

- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

1-3. 本体各部の名称

本体前部



1 レンズシフトダイヤル

水平ダイヤルと垂直ダイヤルがあります。このダイヤルを回して投写画面の位置を調整します。(→ 43 ページ)

2 ズームレバー

投写した画面の大きさを調整します。(→ 45 ページ)

3 レンズ

ここから映像が投写されます。

4 フォーカスリング

映像のフォーカスを合わせます。(→ 44 ページ)

5 リモコン受光部

リモコンの信号を受ける部分です。本体の前面と背面の2箇所にあります。(→ 34 ページ, 68 ページ)

6 スピーカー (モノラル)

音声入力端子から入力された音声を出します。(→ 48 ページ)

7 インジケータ

本機の動作状態を知らせます。(→ 27 ページ, 94 ページ)

8 排気口

内部の熱を排気します。

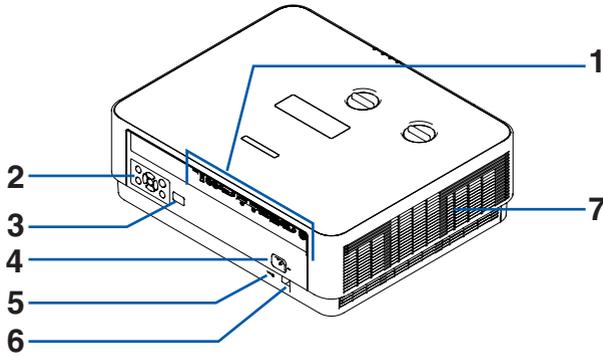
9 チルトフット (左右)

チルトフットを回して左右の傾きを調整します。(→ 46 ページ)

10 レンズキャップ

レンズを保護します。投写中は必ず外してください。

本体後部



1 接続端子部

各種映像信号や音声信号のケーブルを接続します。(→ 28 ページ)

2 本体操作部

本機の電源の入/切や、投写する映像信号の切り替え操作などできます。(→ 次ページ)

3 リモコン受光部

リモコンの信号を受ける部分です。(→ 34 ページ)

4 AC IN 端子

添付の電源コードを接続します。(→ 37 ページ)

5 セキュリティスロット

盗難防止のためワイヤーケーブルを付ける際に使用します。
詳しくは下の [参考] をご覧ください。

6 セキュリティバー

本機のセキュリティバーは、直径 4.6mm の太さのものまで対応しています。
セキュリティケーブル (またはワイヤー) を取り付けます。

7 吸気口

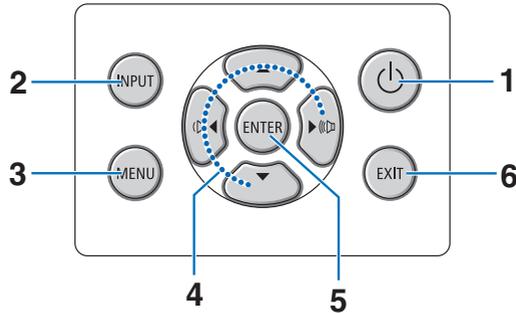
外気を取り込み本体内部を冷却します。

[参考]

● セキュリティスロットについて

セキュリティスロットは、市販のケンジントン社製セキュリティケーブルに対応しています。製品については、ケンジントン社のホームページをご参照ください。

本体操作部



1 ㊤ ボタン（電源ボタン）

本機の電源を入／切（スタンバイ状態）します。

電源を切る（スタンバイ状態）ときは、一度押すと画面に確認メッセージが表示されるので、続いてもう一度 ㊤ ボタンを押します。

2 INPUT（入力切替）ボタン

入力端子画面を表示します。

3 MENU（メニュー）ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。（→ 51 ページ）

4 ▼▲◀▶ボタン（音量調整ボタンを兼用）

- オンスクリーンメニューを表示しているときに▼▲◀▶ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます。（→ 51 ページ）
- オンスクリーンメニューを表示していないときに、◀ / ▶ボタンを押すと、音量を調整できます。（→ 48 ページ）

5 ENTER（決定）ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。

確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

6 EXIT（戻る）ボタン

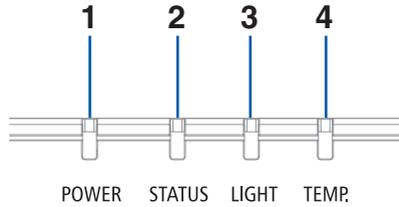
オンスクリーンメニューのメインメニュータブにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。サブメニューにカーソルがあるときは、メインメニュータブに戻ります。

確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

【注意】

- 本書では、本体の操作ボタンを日本語で表記していますので、読み換えてください。

インジケータ



1 POWER（電源）インジケータ

本機の電源の状態を表すインジケータです。

電源が入っているときは青色に点灯します。

電源が切れているときは、状態によって緑色またはオレンジ色で点灯／点滅します。

2 STATUS（ステータス）インジケータ

本体キーロック中に操作ボタンを押したときや、本機に異常が発生したときに、点灯／点滅します。

3 LIGHT（光源）インジケータ

光源の状態をお知らせします。

4 TEMP.（温度）インジケータ

プロジェクターの周囲の温度が高くなっていることをお知らせします。

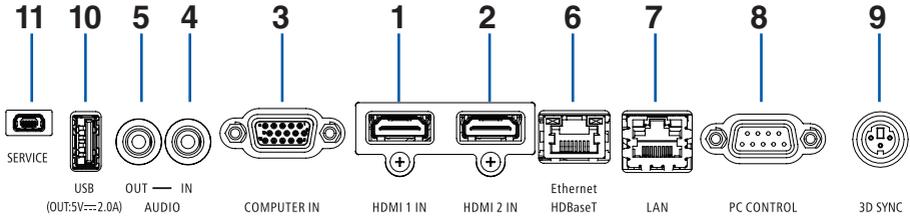
[注意]

- 本書では、インジケータ名を日本語で表記していますので、読み換えてください。

[参考]

- 詳しくは「インジケータ表示一覧」をご覧ください。（→ [94 ページ](#)）

接続端子部



1 HDMI 1 入力端子 (タイプ A)

ブルーレイプレーヤー、デジタル放送チューナーなどの出力端子と接続します。本機のスピーカーから出力される音声はモノラルのみです。

2 HDMI 2 入力端子 (タイプ A)

ブルーレイプレーヤー、デジタル放送チューナーなどの出力端子と接続します。本機のスピーカーから出力される音声はモノラルのみです。

3 コンピューター映像入力端子 (ミニ D-Sub15 ピン)

コンピューターのディスプレイ出力端子と接続します。(→ [37 ページ](#))

4 音声入力端子 (ステレオ・ミニ)

コンピューターまたは DVD プレーヤーなどの音声出力端子と接続すると、本機のスピーカーから音が出せます。本機のスピーカーから出力される音声はモノラルです。

5 音声出力端子 (ステレオ・ミニ)

本機から投写されている映像の音声入力端子の音声信号を出力します。音声出力端子に音声ケーブルを接続すると、本機のスピーカーから音が出なくなります。

6 Ethernet/HDBaseT ポート (RJ-45)

本機を市販の HDBaseT 対応の伝送機器に接続します。(→ [71 ページ](#))

7 LAN ポート (RJ-45)

本機を有線 LAN に接続します。接続すると本機の HTTP サーバー機能を利用し、コンピューターでウェブブラウザを使用して本機を制御することができます。(→ [74 ページ](#))

8 PC コントロール端子 (D-Sub 9 ピン)

コンピューターで本機を操作するときに使用します。

9 3D SYNC 端子 (ミニ DIN-3 ピン)

3D 同期信号が必要な 3D 映像視聴システムに使います。

10 USB ポート (タイプ A)

将来の拡張用です。5V/2.0A の電源供給が可能です。

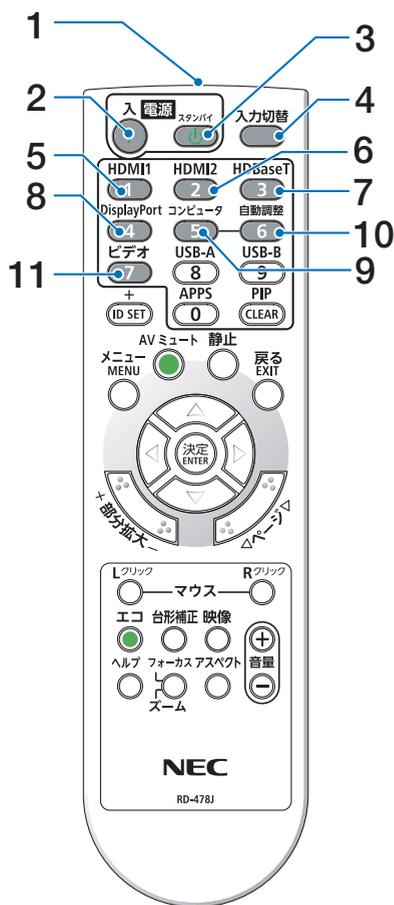
11 サービスマン専用端子 (USB) (タイプ B)

お客様は使用できません。

[注意]

- 本機の LAN ポートおよび Ethernet/HDBaseT ポートは公衆回線（電気通信事業者から貸与またはレンタルされたルーターを含む）に直接接続することを意図して設計されていません。そのため LAN ポートおよび Ethernet/HDBaseT ポートを公衆回線に直接接続することは電気通信事業法で禁止されています。

1-4. リモコン各部の名称



1 リモコン送信部

赤外線によるリモコン信号が送信されます。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

2 電源入ボタン

スタンバイ時（電源インジケータがオレンジ色※で点滅）に本機の電源を入れます。（※スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき）

3 電源スタンバイ ボタン

一度押して電源オフ確認メッセージを表示してもう一度スタンバイ ボタンを押すと、本機の電源が切れます（スタンバイ状態）。

4 入力切替ボタン

入力端子画面を表示します。

5 HDMI 1 ボタン

HDMI 1 入力を選択します。

6 HDMI 2 ボタン

HDMI 2 入力を選択します。

7 HDBaseT ボタン

Ethernet/HDBaseT ポートを選択します。

8 DisplayPort ボタン

（本機では使用できません）

9 コンピュータボタン

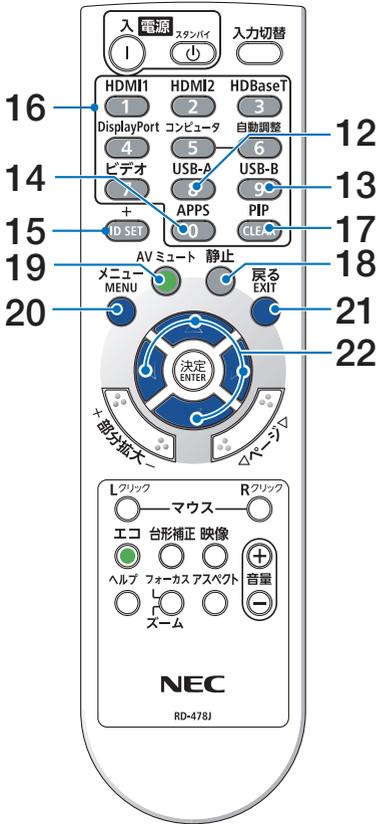
コンピューター入力を選択します。

10 自動調整ボタン

（本機では使用できません）

11 ビデオボタン

（本機では使用できません）



12 USB-A ボタン

(本機では使用できません)

13 USB-B ボタン

(本機では使用できません)

14 APPS ボタン

(本機では使用できません)

15 ID SET ボタン

(本機では使用できません)

16 数字 (0 ~ 9) 入力ボタン

(本機では使用できません)

17 PIP ボタン

(本機では使用できません)

18 静止ボタン

表示されている画像が静止画になります。
もう一度押しと戻ります。

19 AV ミュートボタン

映像と音声を一時的に消します。もう一度押しと戻ります。

20 メニューボタン

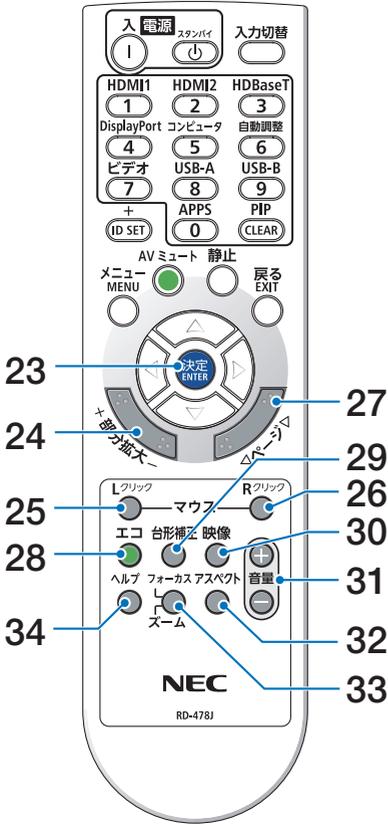
各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。

21 戻るボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。
確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

22 ▼▲◀▶ボタン

オンスクリーンメニュー操作や部分拡大＋/－ボタンを使った画面拡大時の表示位置調整に使用します。



23 決定ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。

確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

24 部分拡大 + / - ボタン

画面の拡大・縮小（もとに戻す）をします。

25 マウス L クリックボタン

（本機では使用できません）

26 マウス R クリックボタン

（本機では使用できません）

27 ページ ▽ / △ ボタン

（本機では使用できません）

28 エコボタン

エコモード選択画面を表示します。（→ 67 ページ）

29 台形補正ボタン

台形補正画面を表示します。（→ 47 ページ）

30 映像ボタン

調整メニューを表示します。（→ 59 ページ）

31 音量 + / - ボタン

内蔵スピーカーの音量を調整します。音声出力端子の音量も調整します。（→ 48 ページ）

32 アスペクトボタン

アスペクト選択メニューを表示します。（→ 63 ページ）

33 フォーカス / ズームボタン

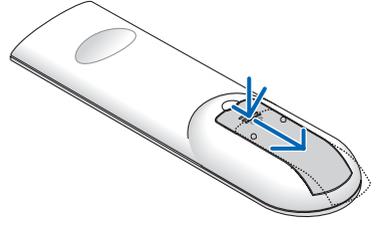
（本機では使用できません）

34 ヘルプボタン

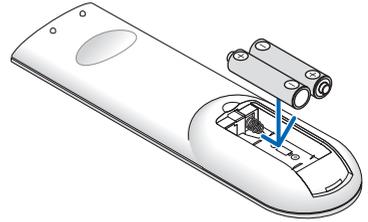
情報画面を表示します。（→ 70 ページ）

■ 電池の入れかた

1. リモコン裏面の電池ケースのふたを押したまま手前に引き、上に持ち上げて外す。

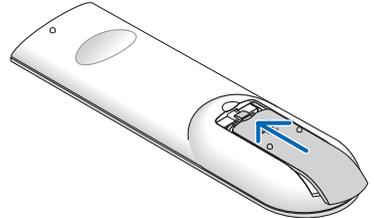


2. ケース内部に表示している+、-の向きに合わせて単4乾電池をセットする。



3. もとどおりにふたをする。

ふたの後部には電池ケースに固定するツメがありますので、スライドさせて閉めてください。



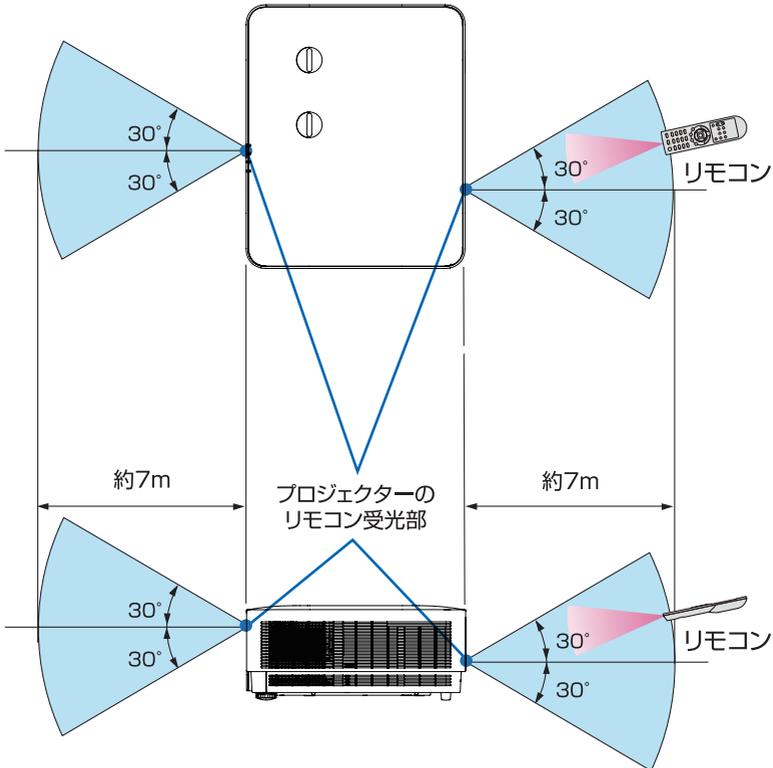
【注意】

● 乾電池を交換するときは、2本とも同じ種類の単4乾電池をお買い求めください。

■ リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。

【受光範囲】



(注) 有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

■ リモコンの使用上の注意

- 本機のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中に障害物があって信号がさえぎられていると動作しません。
- 本体から約7m以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。
- リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を2本とも取り出してください。

2. 映像を投写する（基本操作）

2-1. 映像を投写する流れ

ステップ 1	コンピューターと接続する／電源コードを接続する（→ 次ページ ）
ステップ 2	本機の電源を入れる（→ 38 ページ ）
ステップ 3	入力信号を選択する（→ 40 ページ ）
ステップ 4	投写画面の位置と大きさを調整する（→ 42 ページ ） 台形歪みを調整する（→ 47 ページ ）
ステップ 5	本機の音量を調整する（→ 48 ページ ）
ステップ 6	プレゼンテーションを行う
ステップ 7	本機の電源を切る（→ 49 ページ ）
ステップ 8	移動するときは（→ 50 ページ ）

2-2. コンピューターと接続する／電源コードを接続する

1. コンピューターと接続する

ここでは、コンピューターとの基本的な接続を説明します。他の接続は「4. 機器と接続する」71 ページをご覧ください。

コンピューター側のディスプレイ出力端子（ミニ D-Sub15 ピン）と、本機のコンピューター映像入力端子を、添付のコンピューターケーブルで接続しコネクターのツマミを回して固定します。

2. 電源コードを接続する

添付の電源コードを使って、コンセントに本機を接続します。

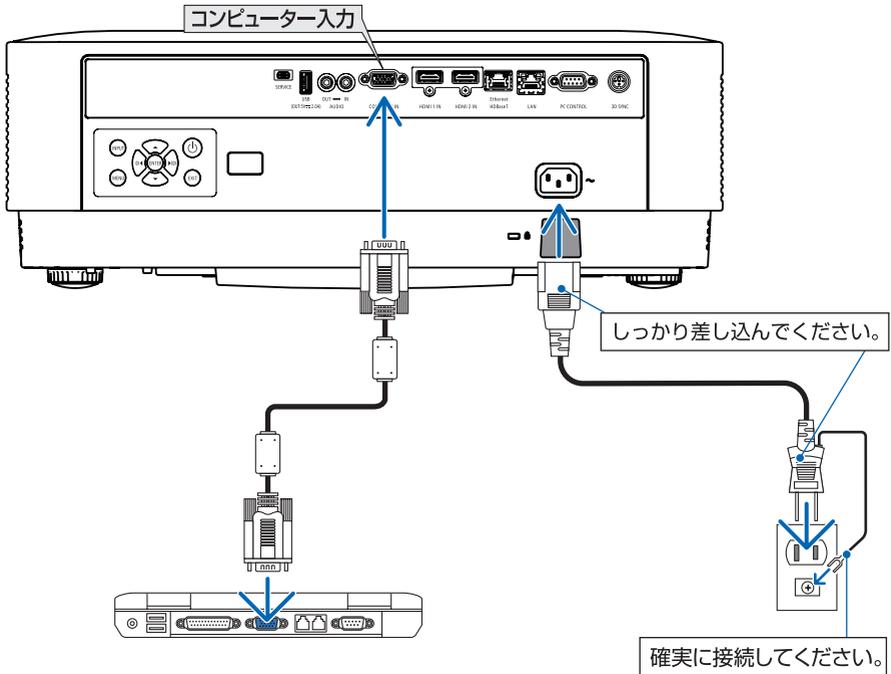
- ① 電源コードのコネクタを本機の AC IN 端子に差し込む。
- ② 電源コードのアース線を AC100V のコンセント（アース工事済み）のアース端子に接続する。
- ③ 電源コードのプラグを AC100V のコンセントに差し込む。



注意

- 本機は電源コードのアース線を大地アースに接続することを前提に設計されているアース線つき 2 芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードのアース線を、コンセントのアース端子に確実に接続してご使用ください。アースに接続しないと感電するおそれがあります。
- プロジェクターとコンピューター（信号源）は必ず同じアースに接続してください。
プロジェクターとコンピューター（信号源）を離れた場所のアースに接続すると、アース電位の変動により、発火・発煙の原因となることがあります。
- アース工事は専門業者にご依頼ください。
- アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アース線を外す場合は、必ず電源コンセントから抜いてから行ってください。

電源コードを接続すると、本機の電源インジケータがオレンジ色で点滅し、本機がスタンバイ状態になります。（スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき）（→ 68 ページ）

**注意**

電源を切ったときは、一時的に本体が高温になることがあります。
取り扱いに注意してください。

2-3. 本機の電源を入れる

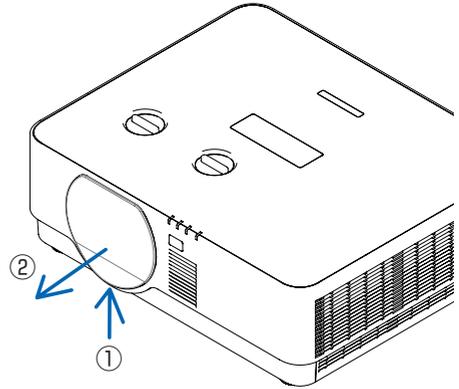


警告

プロジェクターは強い光を投写します。電源を入れる際は、投写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。

1. レンズキャップを取り外す。

レンズキャップを押し上げてロックを外し、手前に引いて外します。

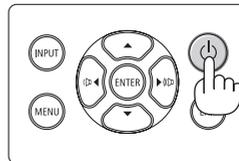


2. 電源ボタンを押す。

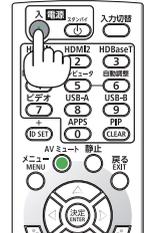
電源インジケータが青色に点灯し、スクリーンに映像が投写されます。

- リモコンで操作する場合は、電源入ボタンを押します。
- 信号が入力されていないときは、ブルーバックが表示されます（工場出荷時のメニュー設定時）。
- 映像がぼやけている場合は、フォーカスリングを回して画面のフォーカスを合わせてください。（→ 44 ページ）

プロジェクター本体



リモコン



【参考】

- ご購入後はじめて電源を入れたときは LANGUAGE 画面が表示されます。次のように操作して「日本語」を選択してください。
 - ① ▼▲◀▶ ボタンを押して、カーソルを「日本語」に合わせる。
 - ② 決定ボタンを押す。
 オンスクリーンメニューの表示が日本語に設定され、オンスクリーンメニューが消えます。
- オンスクリーンメニューの表示言語は、オンスクリーンメニューの「セットアップ (SETUP)」タブの下の「言語 (LANGUAGE)」を選択して変更することができます。（→ 69 ページ）

【注意】

- 次のような場合は、ボタンを押しても電源が入りません。
 - 内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待って（内部の温度が下がって）から電源を入れてください。
 - ボタンを押している間にステータスインジケータがオレンジ色に点灯する場合は本体キーロックが設定されています。本体キーロックを解除してください。（→ [69ページ](#)）
- 電源インジケータが青色で短い点滅をしているときはボタンを押しても電源は切れません（青色で長い点滅はオフタイマーを設定していますので電源は切れます）。

2-4. 入力信号を選択する

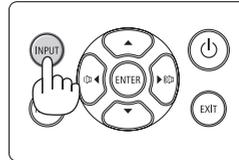
投写する信号を自動検出する

- 1 本機に接続しているコンピューターやDVDプレーヤーなどの電源を入れる。
DVDプレーヤーなどの映像を投写するとき
は、再生（PLAY）操作をしてください。

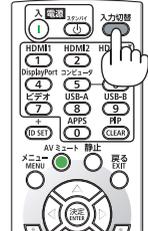
- 2 入力切替ボタンを押す。

入力端子画面が表示されます。

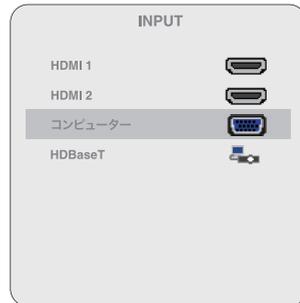
プロジェクター本体



リモコン

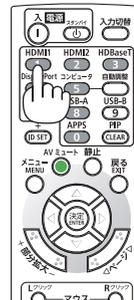


- 3 ▼ / ▲ボタンを押して投写する端子にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。



リモコンのダイレクトボタンを押して選択する

1. 本機に接続しているコンピューターやDVDプレーヤーなどの電源を入れる。
DVDプレーヤーなどの映像を投写するとき
は、再生（PLAY）操作をしてください。
2. リモコンのHDMI 1、HDMI 2、HDBaseT、コンピュータ ボタンを押す。



【注意】

- 端子切り替えを行うと、投写した映像が一時的に乱れることがあります。
- 4K HDR 信号を投写する前に、「ダイナミックコントラスト」を「オフ」にしてください。
(→ 54 ページ)
「ダイナミックコントラスト」を「オン」にしていると、正常に投写されないことがあります。
- HDMI 入力端子に 4K HDR 信号を入力した状態で入力信号切り替え操作を頻繁に行くと、誤動作を生じることがあります。
- 4K HDR 信号を投写しているとき、絵柄によっては画面がちらつく場合があります。

【参考】

- 信号が入力されていないときは、ブルーバックが表示されます（工場出荷時のメニュー設定時）。
DVD プレーヤーなどは再生（PLAY）操作をしてください。
- ノートブックコンピューターの画面がうまく投写できない場合
ノートブックコンピューターの外部出力（モニター出力）設定を外部に切り替えてください。
 - Windows のノートブックコンピューターの場合は、[Fn] キーと 12 個のファンクションキーのいずれかとの組み合わせで、外部出力の有効 / 無効を切り替えます。

【コンピューターメーカーとキー操作の例】

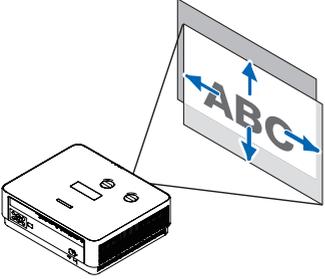
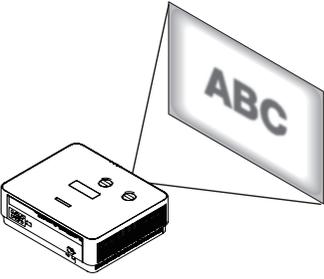
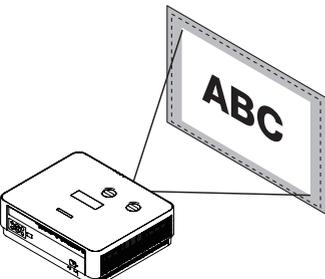
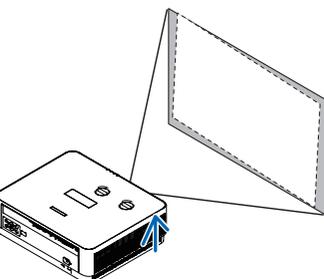
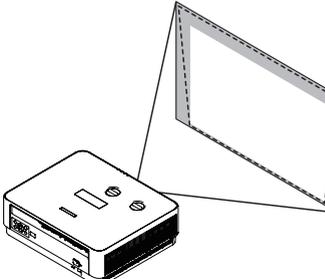
[Fn] + [F3]	NEC
[Fn] + [F8]	DELL

※ 詳しい操作は、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

- Apple MacBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。
- それでも投写しない場合は入力端子を再度選択してください。(→ 前ページ)

2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する

レンズシフトやチルトフット、ズーム、フォーカスなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

<p>投写画面の上下・左右位置の調整 【レンズシフト】（→次ページ）</p> 	<p>投写画面のフォーカス調整 【フォーカスリング】（→44ページ）</p> 
<p>投写画面の大きさの調整 【ズームレバー】（→45ページ）</p> 	<p>投写画面の高低と左右の傾き調整 【チルトフット】（→46ページ）</p> 
<p>投写画面の台形歪み補正 【台形補正】（→47ページ）</p> 	

※ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

投写画面の位置の調整（レンズシフト）



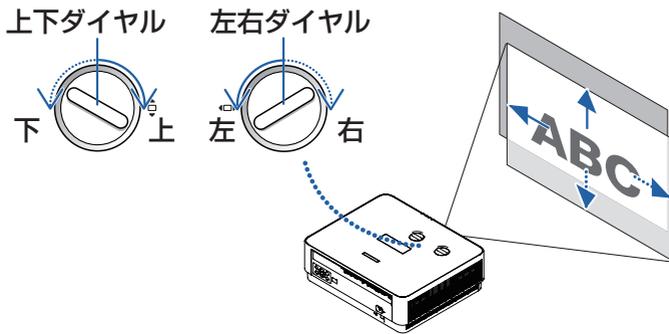
注意

調整はプロジェクターの後ろまたは横から行ってください。前面で調整すると強い光が目に入り、視力障害の原因となります。

1. レンズシフトダイヤルを左右に回す。

上下ダイヤル：左右へ回して投写位置の上下方向を調整します。

左右ダイヤル：左右へ回して投写位置の左右方向を調整します。

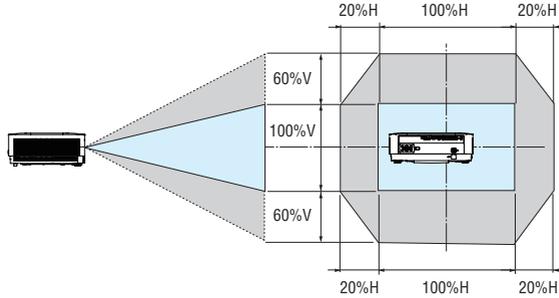


【注意】

- ダイヤルは1回転以上回すことができます。ただし、投写位置を参考に掲載の範囲を超えて移動することはできません。
また、ダイヤル機構が破損しますのでダイヤルを無理に回さないでください。
- レンズシフトを斜め方向へ最大にすると、画面周辺が暗くなったり、影が出たりします。
- 上下方向のレンズシフトは画面が上がる方向で調整を終えてください。
画面が下がる方向で調整を終えた場合、ズームやフォーカス調整を行う際や大きな震動が加わった際に画面が少し下がる場合があります。
- レンズシフトの水平方向で画面位置調整を行う際、目的の位置からずれてしまうことがあります。目的の位置からずれてしまった場合は、レンズシフトダイヤルを反対側に回して目的の位置になるように調整してください。

【参考】

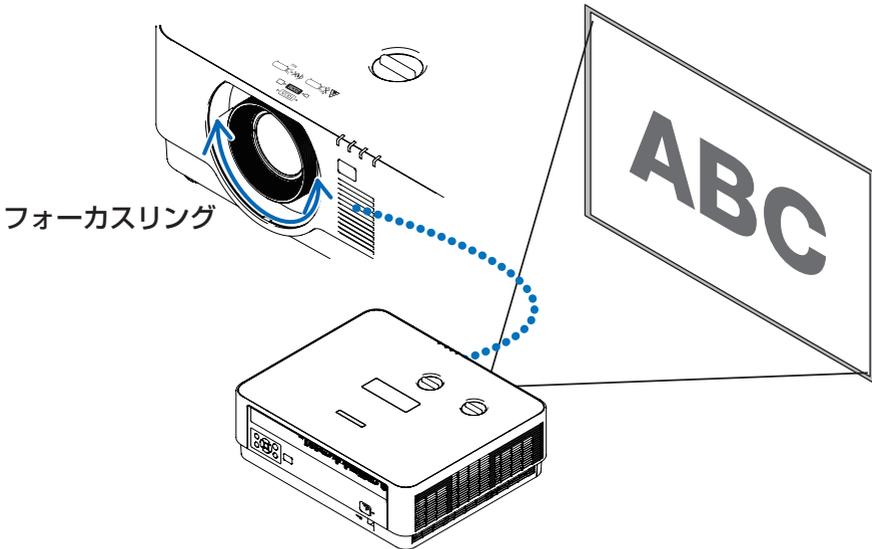
- 次ページの図はレンズシフト調整範囲（投写方式：デスク／フロント）を示しています。
- 天吊り／フロント投写のレンズシフト調整範囲は [82 ページ](#) をご覧ください。



記号の意味：Vは垂直（投写画面の高さ）、Hは水平（投写画面の幅）を表し、レンズシフト範囲を高さおよび幅の比率で表しています。

投写画面のフォーカス合わせ（フォーカスリング）

1. フォーカスリングを左右に回してピントを合わせる。

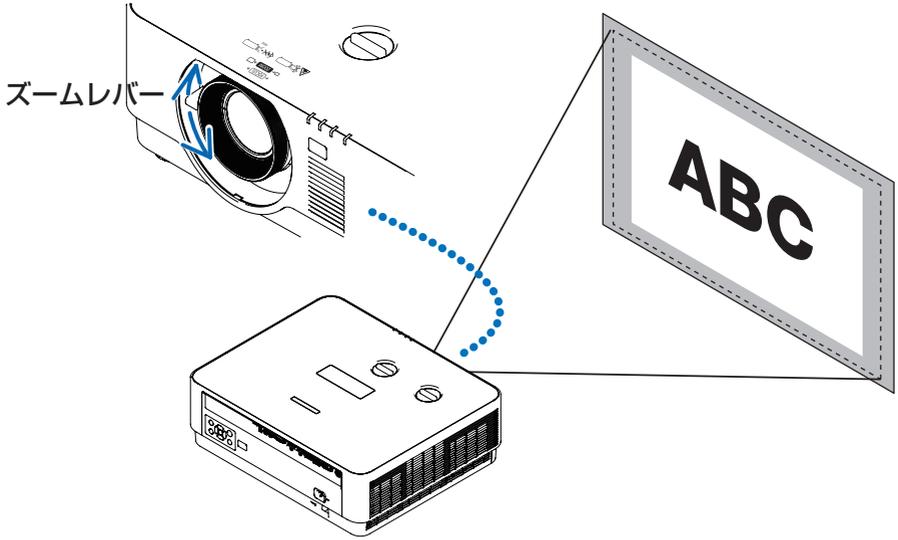


[参考]

- フォーカス調整は、テストパターンを投写した状態で 30 分以上経過したのちに行うことをおすすめします。
テストパターンの表示については [57 ページ](#)をご覧ください。
- テストパターンを表示してフォーカス調整を行う際は、「高輝度モード」にして行うことをおすすめします。（→ [54 ページ](#)）

投写画面の大きさの調整（ズームレバー）

1. ズームレバーを左右に回す。



投写画面の高低と左右の傾き調整（チルトフット）

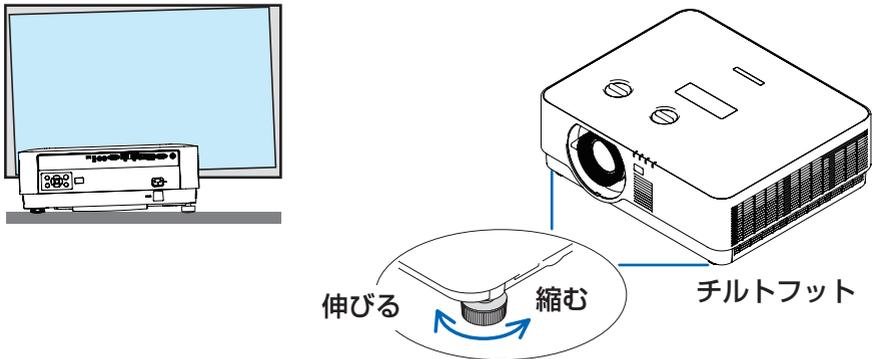
1. 左右のチルトフットを回して調整する。

チルトフットを回すとチルトフットが伸縮します。

投写画面の高低は左と右のチルトフットを回して高さ調整をします。

投写画面が傾いているときは、どちらかのチルトフットを回して水平に調整します。

- 投写画面が歪んでいるときは「2-6. 台形歪みを調整する（台形補正）」をご覧ください。
- チルトフットは、最大 15mm 伸ばすことができます。
- チルトフットにより、本機を最大約 2° 傾けることができます。



【注意】

- チルトフットは 15mm 以上伸ばさないでください。15mm を超えるとチルトフットの取り付け部分が不安定になり、チルトフットが本体から外れます。
- チルトフットは、本機の投写角度調整以外の用途には使用しないでください。チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。

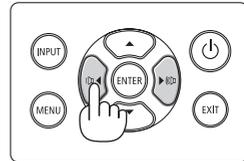
2-7. 本機の音量を調整する

本機の内蔵スピーカーの音量、および音声出力端子から出力されている音声信号の音量を調整します。

本体の操作ボタンで調整する

1. オンスクリーンメニューが表示されていないときに、◀ / ▶ ボタンを押す。

音量調整バーが表示されます。



◀▶ 側	音量が大きくなります。
▶ 側	音量が小さくなります。

【注意】

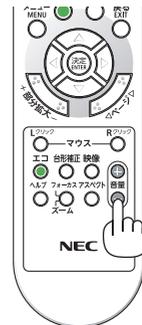
- オンスクリーンメニューが表示されているとき、部分拡大+ボタンで画面を拡大しているときは、◀ / ▶ ボタンを使った音量調整はできません。

リモコンを使って調整する

1. リモコンの音量 + / - ボタンを押す。

音量調整バーが表示されます。

+側	音量が大きくなります。
-側	音量が小さくなります。



2-8. 本機の電源を切る

1. 電源ボタンを押す。

- リモコンで操作する場合は、電源スタンバイボタンを押します。

画面に電源オフ確認メッセージが表示されます。

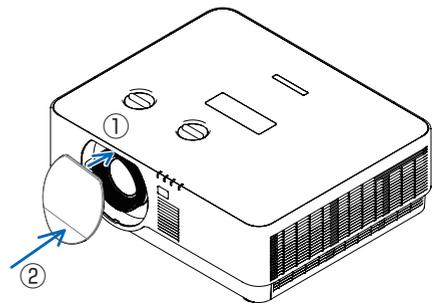
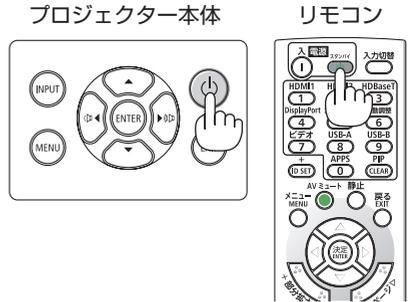
2. もう一度電源ボタンを押す。

光源が消灯し、電源が切れます。（スタンバイ状態）

- リモコンで操作する場合は、もう一度電源スタンバイボタンを押します。
- スタンバイ状態になると、電源インジケータがオレンジ色で点滅します。（スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき）
- 電源を切らない場合は、戻るボタンを押します。

3. レンズキャップを取り付ける。

レンズキャップの上側のツメを本体のミゾに入れて、レンズキャップの下側を押し込みます。レンズキャップが本体に固定されます。



電源を切ったときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

【注意】

- 電源インジケーターが青色で短い点滅をしているときは電源を切る操作をしても電源は切れません。
- 投写中は、本機やコンセントから電源コードを抜かないでください。本機の AC IN 端子や電源プラグの接触部分が劣化するおそれがあります。投写中に AC 電源を切断する場合は、テーブルタップのスイッチ、ブレーカーなどを利用してください。
- 各種の調整を行い調整画面を閉じたあと約 10 秒間は、AC 電源を切断しないでください。この間に AC 電源を切断すると、調整値が初期化されることがあります。

2-9. 移動するときは

1. 電源コードを取り外す。
2. 各種信号ケーブルを取り外す。

3. オンスクリーンメニュー

3-1. オンスクリーンメニューの基本操作

本機で投写する映像の画質調整や本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して行います。以降、「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。

3-1-1. オンスクリーンメニュー画面の構成

メニューを表示するにはプロジェクター本体またはリモコンの MENU（メニュー）ボタンを押します。また、メニューを消す場合は EXIT（戻る）ボタンまたは MENU（メニュー）ボタンを押します。

ここではメニューの見かたや操作方法について説明します。

準備：本機の電源を入れて、スクリーンに映像を投写してください。

1 MENU（メニュー）ボタンを押す。

- EXIT（戻る）ボタンまたは MENU（メニュー）ボタンを押すと、メニューが消えます。
- 画面上におけるメニューの表示位置を変更することができます。（メニュー位置→69ページ）

2 ◀ / ▶ ボタンを押す。

メインメニュータブ（入力↔調整↔表示↔ネットワーク↔セットアップ↔情報）にカーソルが移動します。

メインメニュータブが変わると、サブメニューも変わります。

3 メインメニュータブにカーソルがある状態で、▼ ボタンを押す。

サブメニューにカーソルが移動します。

- サブメニューからメインメニュータブに戻る場合は、EXIT（戻る）ボタンを押します。
- MENU（メニュー）ボタンを押すと、メニューが消えます。

4 ▼ / ▲ ボタンを押して目的のサブメニューにカーソルを合わせる。

サブメニューの右端に表示されているマークや項目名は、キー操作を表しています。



前ページのメニュー画面例の説明

- ① メインメニュータブ
- ② サブメニュー
- ③ キーガイド
- ④ カーソル
- ⑤ 項目名が表示されているときは、◀ / ▶ ボタンを押すと、候補が切り替わります。
- ⑥ 数字が表示されているときは、◀ / ▶ ボタンを押すと、数値が増減します。
- ⑦ ◀ が表示されているときは、決定ボタンを押すと、下の階層のメニューを表示します。

3-1-2. 確認メッセージ

調整値をリセットする場合などに、確認メッセージが表示されます。



◀ / ▶ ボタンを押して、「確定」または「取消」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押します。

3-1-3. 数字の変更

メニューのネットワーク設定において、工場出荷時の IP アドレスやサブネットマスクなどを変更する場合について説明します。

1 MENU (メニュー) ボタンを押して、◀ / ▶ ボタンで「ネットワーク」タブを選ぶ。
ネットワーク画面が表示されます。

2 ▼ / ▲ ボタンを押して「IP アドレス」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

入力	調整	表示	ネットワーク	セットアップ	情報
接続					有効
DHCP					オフ
IPアドレス			192.168.0.10		
サブネットマスク			255.255.255.0		
ゲートウェイ			0.0.0.0		
DNS			0.0.0.0		
適用					↵
AMXビーコン					オフ

MENU = 終了 項目 調整 ◀ スクロール ▲ ▼

IP ADDRESS 入力画面が表示されます。



IP ADDRESS			
192	168	0	10

3 ◀ / ▶ ボタンを押して変更する数値にカーソルを合わせる。

4 ▼ / ▲ ボタンを押して数値を変更し、EXIT (戻る) ボタンを押す。

- ▲ ボタンを押すと数値が増加します。▼ ボタンを押すと数値が減少します。

3-2. オンスクリーンメニュー一覧

は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

メニュー	選択項目	参照ページ
入力		
HDMI		
ビデオレベル	自動、ノーマル、拡張	
コンピューター		
水平位置	-5-5 (工場出荷時: 0)	
垂直位置	-5-5 (工場出荷時: 0)	
位相	0-100	
クロック周波数	-5-5 (工場出荷時: 0)	57
WXGA	自動、オン、オフ	
3D		
3D メガネ	DLP-LINK、IR	
L/R 反転	オフ、オン	
オートソース	オフ、オン	
テストパターン	オフ、グリッド	
調整		
参照	高輝度モード、プレゼンテーション、ビデオ、ムービー、sRGB、DICOM SIM.、ユーザー	
詳細設定		59
ガンマ補正	1.8、2、2.2、2.4、B&W、LINIER	
色温度	高、ノーマル、低	
ダイナミックコントラスト	オフ、オン	
ホワイトバランス		
コントラスト赤	0-200 (工場出荷時: 100)	
コントラスト緑	0-200 (工場出荷時: 100)	
コントラスト青	0-200 (工場出荷時: 100)	
明るさ 赤	-100-100 (工場出荷時: 0)	
明るさ 緑	-100-100 (工場出荷時: 0)	
明るさ 青	-100-100 (工場出荷時: 0)	60
詳細設定		
ホワイトピーキング	0-10	
MEMC	オフ、低、中間、高	
イメージピーキング	0-10	
色補正		
赤	色相 / 彩度 / ゲイン	0-100

	緑	色相 / 彩度 / ゲイン	0-100	60
	青	色相 / 彩度 / ゲイン	0-100	61
	イエロー	色相 / 彩度 / ゲイン	0-100	
	マゼンタ	色相 / 彩度 / ゲイン	0-100	
	シアン	色相 / 彩度 / ゲイン	0-100	
	白	赤 / 緑 / 青	0-100	
	コントラスト		0-100	62
	明るさ		0-100	
	シャープネス		0-31	
	音声		0-31 (工場出荷時: 11)	
	リセット			
表示				63
	アスペクト		フィル、4:3、16:9、レターボックス	64
	デジタルズーム		-10-10 (工場出荷時: 0)	
	台形補正		-30-30 (工場出荷時: 0)	
	投写方法		デスク / フロント、デスク / リア、天吊り / フロント、天吊り / リア	65
ネットワーク				66
	接続		無効、有効 (選択できません。)	
	DHCP		オフ、オン	
	IP アドレス		000.000.000.000	
	サブネットマスク		000.000.000.000	
	ゲートウェイ		000.000.000.000	
	DNS		000.000.000.000	
	適用		確定、取消	
	AMX ビーコン		オフ、オン	
セットアップ				67
	ライトモード			
	エコモード		ノーマル、エコ	
	調整		30-100 (工場出荷時: 100)	
	輝度一定モード		オフ、オン	
	ファンモード		ノーマル、高地	68
	リモコン受光部設定		すべて、前側、後側	
	スタンバイ			
	スタンバイモード		ノーマル、ネットワークスタンバイ、HDBaseT	
	オートパワーオフ		0-180 (工場出荷時: 0)	

	オフタイマー	0、10、20、30、60、90、120、180、240、360、480、600	68
	ダイレクトパワーオン	オフ、オン	
	メニュー設定		69
	メッセージ表示	オフ、オン	
	メニュー位置	中央、上、下、左端、右端	
	表示時間	手動、自動 5 秒、自動 15 秒、自動 45 秒	
	バックグラウンド	青、黒	
	セキュリティ		
	本体キーロック	オフ、オン	
	言語	ENGLISH, DEUTSCH, FRANCAIS, ITALIANO, ESPAÑOL, SVENSKA, 日本語, DANSK, PORTUGUÉS, ČEŠTINA, MAGYAR, POLSKI, NEDERLANDS, SUOMI, NORSK, TÜRKÇE, РУССКИЙ, عربي, ΕΛΛΗΝΙΚΑ, 简体中文, 한국어, ROMÂNĂ, HRVATSKI, БЪЛГАРСКИ, INDONESIA, ไทย, हिन्दी, ئۇيغۇرچە, 繁體中文, Tiếng Việt	70
	全データリセット	確定、取消	
情報			70
	入力端子		
	信号名		
	ライト使用時間		
	IP アドレス		
	VERSION		
	シリアル番号		

3-3. 入力

HDMI、コンピューター、3D などの入力信号の調整や設定を行います。

HDMI	HDMI 1 および HDMI 2 入力端子から入力している HDMI 信号の「ビデオレベル」を調整します。		
	ビデオレベル	自動	信号を出力する機器の情報をもとにビデオレベルを自動的に切り替えます。
		ノーマル	拡張を無効にします。
		拡張	映像のコントラストが向上し、暗部および明部がよりダイナミックに表現されます。
コンピューター	コンピューター入力端子から入力しているアナログ RGB 信号の「水平位置」、「垂直位置」、「位相」、「クロック周波数」などを調整します。		
	水平位置	画面を水平方向に移動します。	
	垂直位置	画面を垂直方向に移動します。	
	位相	画面の色ずれ、ちらつきが最小になるように調整します。	
	クロック周波数	画面の明るさが一定になる（明暗の縦帯が出なくなる）ように調整します。	
	WXGA	「オン」にすると、入力信号を検出する際「1680x1050, 60Hz (16:10)」信号を優先して検出します。「オフ」にすると、「1400x1050, 60Hz (4:3)」を優先して検出します。「自動」にすると、自動的に検出します。 工場出荷時の設定は「自動」になっています。	
3D	3D 映像信号が入力されているときに選択でき、「3D メガネ」と「L/R 反転」を設定します。		
	3D メガネ	3D 映像信号の方式に応じて、「DLP-LINK」または「IR」を選択します。	
	L/R 反転	3D 映像が観づらい場合に設定を変更します。左目用の画像と右目用の画像の表示順を変更します。	
オートソース	映像入力信号を自動的にチェックし、最初に検出した信号の映像を投写します。		
テストパターン	テストパターン（格子状のパターン）を表示します。		

【注意】

- HDMI のビデオレベルで「自動」を設定していても、接続している機器によっては正しく設定できない場合があります。その場合は、メニューで「ノーマル」または「拡張」に切り替え最適な状態で視聴してください。

⚠ 注意

● 健康に関するご注意

健康に関する注意事項は、3D 映像のソフト（ブルーレイプレーヤー、ゲーム、コンピューターの動画ファイルなど）および 3D メガネに添付されている取扱説明書に記載されている場合がありますので、必ず視聴する前にご確認ください。
健康への悪影響を避けるため、次の点に注意してください。

- 3D 映像を視聴する以外の目的で、3D メガネを使用しないでください。
- スクリーンから 2m 以上離れて視聴してください。スクリーンに近い距離で視聴すると目への負担が増加します。
- 長時間連続して視聴しないでください。1 時間視聴したら、15 分以上休憩を取ってください。
- 本人または家族の中で光感受性発作を起こしたことがあるかたは、視聴する前に医師に相談してください。
- 視聴中に身体に異常（吐き気、めまい、むかつき、頭痛、目の痛み、視界のぼけ、手足のけいれん、しびれなど）を感じたときは、すぐに視聴を中止し安静にしてください。しばらくしても異常が治らない場合は医師に相談してください。
- 3D 映像はスクリーンの正面から視聴してください。3D 映像を斜めから視聴すると、疲労や眼精疲労を起こす原因となることがあります。

[注意]

- 3D エミッターを使用する場合は、3D エミッターの端子を本機の 3D SYNC 端子に接続してください。
- 3D メガネは、3D エミッターから出力される同期信号を受光することにより、映像を立体的に視聴できるようにします。
DLP® Link 方式の 3D メガネは、3D 映像信号に含まれる同期信号がスクリーンに反射したところを受光することにより、映像を立体的に視聴できるようにします。
そのため、周囲の明るさ、スクリーンサイズ、視聴距離などの条件によっては、3D 映像が観づらくなることがあります。
- ブルーレイプレーヤーの取扱説明書に記載されている動作条件を確認してください。
- 3D 映像のソフトをコンピューターで再生する場合、コンピューターの CPU やグラフィックチップの性能が低いと 3D 映像が観づらくなることがあります。3D 映像のソフトに添付されている取扱説明書に記載されているコンピューターの動作条件を確認してください。
- 3D 入力信号によっては自動で 3D 映像に切り替わらない場合があります。

3-4. 調整

3-4-1. 参照

投写した映像に最適な設定を選択します。

高輝度モード	明るい部屋で投写するときに適した設定にします。
プレゼンテーション	PowerPointなどでプレゼンテーションを行うときに適した設定にします。
ビデオ	テレビ番組や一般的な映像ソースを投写するときに適した設定にします。
ムービー	映画を投写するときに適した設定にします。
sRGB	sRGBに準拠した色が再現されます。
DICOM SIM.	医療業界で用いられているDICOM規格に近似した設定にします。
ユーザー	映像コンテンツを見ながら、明るさやガンマ補正、色補正などの映像調整を行えるモードです。

【注意】

- 映像の設定を変更すると、投写している映像が一時的に乱れることがあります。
- 本機の「DICOM SIM.」は、DICOM規格に近似した映像に調整する設定であり正しく投写できない場合があります。そのため「DICOM SIM.」は教育用途のみに使用し、実際の診断には使用しないでください。

3-4-2. 詳細設定

■ ガンマ補正

映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

■ 色温度

色 (R, G, B) のバランスを調整して色再現性を最良にします。

高	青みがかった白になります。
ノーマル	「高」と「低」の中間の白になります。
低	赤みがかった白になります。

■ ダイナミックコントラスト

「オン」設定すると映像に応じて最適なコントラスト比に調整します。

■ ホワイトバランス

信号の白レベルと黒レベルを調整して色再現性を最良にします。

コントラスト 赤 コントラスト 緑 コントラスト 青	映像の白色を調整します。
明るさ 赤 明るさ 緑 明るさ 青	映像の黒色を調整します。

■ 詳細設定

ホワイトピーキング	映像の白い部分をより明るくします。
MEMC	映像を滑らかにします。 「MEMC」は「Motion Estimation Motion Compensation」の略です。
イメージピーキング	映像の輪郭を強調します。

[注意]

- 「MEMC」は、リフレッシュレートが60Hz以外の入力信号のとき、さらに「参照」で「ビデオ」または「ムービー」を選択したときに有効になります。
- 「イメージピーキング」は、「参照」で「ビデオ」または「ムービー」を選択したときに有効になります。さらに、入力端子がHDMI 1/2またはHDBaseTのときに働きます。

3-4-3. 色補正

赤、緑、青、イエロー、マゼンタ（紫）、シアン（明るい青緑）の各色の色味を調整します。

赤	色相	赤色を中心とした赤色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると黄色よりに変化し、「-」方向へ移動するとマゼンタよりに変化します。
	彩度	赤色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱く（白く）なります。
	ゲイン	赤色の明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「-」方向へ移動すると暗く（黒く）なります。
緑	色相	緑色を中心とした緑色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動するとシアンよりに変化し、「-」方向へ移動すると黄色よりに変化します。
	彩度	緑色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱く（白く）なります。

緑	ゲイン	緑色の明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「-」方向へ移動すると暗く（黒く）なります。
青	色相	青色を中心とした青色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動するとマゼンタよりに変化し、「-」方向へ移動するとシアンよりに変化します。
	彩度	青色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱く（白く）なります。
	ゲイン	青色の明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「-」方向へ移動すると暗く（黒く）なります。
イエロー	色相	黄色を中心とした黄色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると緑よりに変化し、「-」方向へ移動すると赤よりに変化します。
	彩度	黄色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱く（白く）なります。
	ゲイン	イエローの明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「-」方向へ移動すると暗く（黒く）なります。
マゼンタ	色相	マゼンタを中心としたマゼンタ付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると赤よりに変化し、「-」方向へ移動すると青よりに変化します。
	彩度	マゼンタの強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱く（白く）なります。
	ゲイン	マゼンタの明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「-」方向へ移動すると暗く（黒く）なります。
シアン	色相	シアンを中心としたシアン付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると青よりに変化し、「-」方向へ移動すると緑よりに変化します。
	彩度	シアンの強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱く（白く）なります。
	ゲイン	シアンの明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「-」方向へ移動すると暗く（黒く）なります。

白	赤	白色の色を調整します。 「+」方向へ移動すると赤よりに変化し、「-」方向へ移動するとシアンよりに変化します。
	緑	白色の色を調整します。 「+」方向へ移動すると緑よりに変化し、「-」方向へ移動するとマゼンタよりに変化します。
	青	白色の色を調整します。 「+」方向へ移動すると青よりに変化し、「-」方向へ移動するとイエローよりに変化します。

3-4-4. コントラスト／明るさ／シャープネス

コントラスト	映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。
明るさ	映像を明るくしたり、暗くします。
シャープネス	映像をくっきりしたり、やわらかくします。

3-4-5. 音声

本機の内蔵スピーカーの音量、および音声出力端子から出力されている音声信号の音量を調整します。

3-4-6. リセット

「調整」メニューで調整した値を出荷状態に戻します。
ただし、音声の調整値はリセットされません。

3-5. 表示

3-5-1. アスペクト

画面の縦横の比率を選択します。

フィル	入力した信号をパネルのアスペクト比 (16:9) に合わせます。
4:3	4 : 3 のサイズで投写します。
16:9	16 : 9 のサイズで投写します。
レターボックス	16 : 9 のレターボックス信号を投写します。

[参考]

- コンピューターの主な解像度とアスペクト比は次のとおりです。

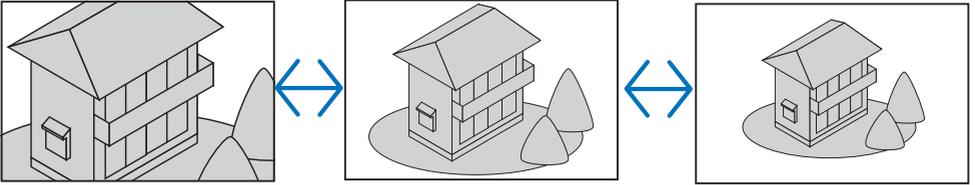
	解像度	アスペクト比
VGA	640 × 480	4 : 3
SVGA	800 × 600	4 : 3
XGA	1024 × 768	4 : 3
HD	1280 × 720	16 : 9
WXGA	1280 × 768	15 : 9
WXGA+	1440 × 900	16 : 10
SXGA	1280 × 1024	5 : 4
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10
FHD(1080P)	1920 × 1080	16 : 9
UXGA	1600 × 1200	4 : 3
WUXGA	1920 × 1200	16 : 10
4K	3840 × 2160	16 : 9

3-5-2. デジタルズーム

画面を最大±4倍まで拡大／縮小します。

拡大および縮小は、画面中央を中心にして拡大および縮小します。

◀ / ▶ ボタンを押すと画面が拡大／縮小します。



- リモコンの部分拡大+ / - ボタンを押しても行うことができます。



[注意]

- 信号によっては、4倍まで拡大できない場合があります。

3-5-3. 台形補正

通常、投写画面は、スクリーンに対して垂直に投写されないと、台形の歪みが生じます。

◀ / ▶ ボタンを押すと下図のように台形補正を行えます。



- リモコンの台形補正ボタンを押しても行うことができます。

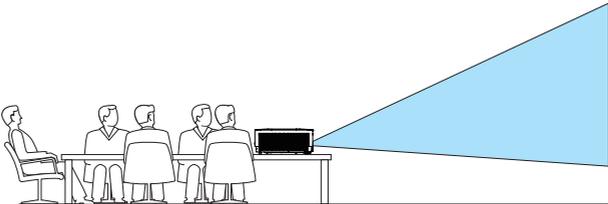
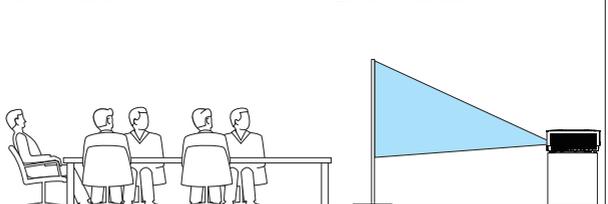
[注意]

- 台形補正は電氣的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。
- 入力信号の種類およびアスペクトの設定によっては調整範囲が狭くなる場合があります。

3-5-4. 投写方法

本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。

 警告	<p>天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買い上げの販売店にご相談ください。 お客様による設置は絶対にしないでください。 落下してけがの原因となります。</p>
---	---

<p>デスク／フロント</p>	<p>テーブルに設置してスクリーンの前面から投写</p> 
<p>デスク／リア</p>	<p>テーブルに設置してスクリーンの背面から投写</p> 
<p>天吊り／フロント</p>	<p>天井に設置してスクリーンの前面から投写</p> 
<p>天吊り／リア</p>	<p>天井に設置してスクリーンの背面から投写</p> 

3-6. ネットワーク

本機を有線 LAN に接続するための設定を行います。

接続	本機のネットワーク接続状況（有効または無効）を表示します
DHCP	オン… DHCP サーバーによって IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが自動的に割り当てられます。 オフ… ネットワーク管理者から割り当てられた任意の IP アドレスやサブネットマスクを手動で設定します。
IP アドレス	「DHCP」を「オフ」にした場合に、本機を接続するネットワークにおける本機の IP アドレスを設定します。 IP アドレスを変更する場合は次のように操作します。 ① IP アドレスにカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。 IP ADDRESS 入力画面が表示されます。 ② ◀ / ▶ ボタンを押して数字を選択する。 ③ ▼ / ▲ ボタンを押して数字を増減する。 ④ 決定する場合は、戻るボタンを押す。
サブネットマスク	「DHCP」を「オフ」にした場合に、本機を接続するネットワークにおける本機のサブネットマスクを設定します。 サブネットマスクを変更する方法は、IP アドレスの項目を参照してください。
ゲートウェイ	「DHCP」を「オフ」にした場合に、本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。 ゲートウェイを変更する方法は、IP アドレスの項目を参照してください。
DNS	本機を接続するネットワークの DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 DNS を変更する方法は、IP アドレスの項目を参照してください。
適用	上記のネットワーク設定を反映させ、設定を本体に保存します。 「確定」を選択して決定ボタンを押すと実行します。「取消」を選択して決定ボタンを押すと設定を破棄します。
AMX ビーコン	AMX のビーコンを送信するかしないかを選択します。

3-7. セットアップ

3-7-1. ライトモード

光源の出力を調整します。

エコモード	「エコ」を選択すると、輝度（明るさ）が約 60%になり、消費電力が下がります。冷却ファンの回転数も対応して下がります。
調整	光源の出力を 30 ~ 100%の範囲（1%刻み）で調整できます。複数台のプロジェクターを使用してマルチスクリーン投写したとき、各プロジェクターの輝度合わせが行えます。エコモードが「ノーマル」のとき調整が有効になります。
輝度一定モード	「オン」を選択すると、工場出荷状態の明るさを基準にして、80%の明るさを一定に保つように制御します。 「オフ」を選択すると、輝度一定モードが解除されます。

【注意】

- 輝度一定モードは明るさを一定に保つ機能です。色は一定になりません。

3-7-2. ファンモード

本機内部の温度を下げるための冷却ファンの動作を設定します。

ノーマル	本機内部の温度センサーにより、適切な速度で回転します。
高地	標高約 1600m 以上の高地など気圧の低い場所で本機を使用する場合に選 びます。常に高速で回転します。

【注意】

- 標高約 1600m 以上の場所で本機を使用する場合は、必ずファンモードを「高地」に設定してください。「高地」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- ファンモードを「高地」に設定しないまま、標高約 1600m 以上の高地で本機を使用した場合、温度プロテクターが働き、自動的に電源が切れることがあります。さらに、光源が消灯後内部の温度が上昇するため、温度プロテクターが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。
- 高地で使用すると、光学部品（光源など）の交換時期が早まる場合があります。

3-7-3. リモコン受光部設定

本体前面と後面のリモコン受光部の設定を行います。

すべて	前側、後側のリモコン受光部からのリモコン信号を有効にします。
前側	前面のみのリモコン受光部を有効にします。
後側	後面のみのリモコン受光部を有効にします。

3-7-4. スタンバイ

スタンバイモード	本機がスタンバイ状態のときの外部機器からの制御について設定します。
	「ノーマル」を選択すると、スタンバイ状態のときに消費電力が下がります。ただし、スタンバイ状態のときに LAN を経由した制御が行えません。
	「ネットワークスタンバイ」を選択すると、「ノーマル」時に比べてスタンバイ時の消費電力は高くなりますが、スタンバイ状態でも有線 LAN を経由した制御を行うことができます。
	「HDBaseT」を選択すると、Ethernet/HDBaseT ポートを通じて、有線 LAN を経由した制御を行うことができます。
オートパワーオフ	設定した時間以上信号入力がなく、また本機を操作しなかった場合、自動的に本機の電源を切ります。
オフタイマー	オフタイマーを設定しておくこと、本機の電源の切り忘れ防止になり、省エネになります。 設定した時間後に本機の電源が切れます（スタンバイ状態になります）。

[参考]

- スタンバイモードを「ノーマル」にしても、PC コントロール端子を使った電源のオン/オフは行えます。

3-7-5. ダイレクトパワーオン

本機の電源プラグに AC 電源が供給されると自動的に電源が入るように設定します。本機を制御卓などでコントロールする場合に使用します。

オフ	AC 電源が供給されるとスタンバイ状態になります。
オン	AC 電源が供給されると電源が入ります。



警告

プロジェクターは強い光を投写します。電源を入れる際は、投写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。

3-7-6. メニュー設定

メッセージ表示	投写画面下側に本機のメッセージを表示するか、しないかを選択します。
メニュー位置	メニューを表示する位置を変更します。5箇所（中央、上、下、左端、右端）から選択できます。
表示時間	メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニューを自動的に閉じるまでの時間を選択します。
バックグラウンド	入力信号がないときの背景色を選択します。 ブルーバック、ブラックバックのいずれかを選択できます。

3-7-7. セキュリティ

本体キーロック	プロジェクター本体にある操作ボタンを動作しないようにします。 オフ……本体操作部のボタンが働きます。 オン……本体操作部のボタンが利かなくなります（ロック）。
---------	---

[参考]

- 本体の操作ボタンがロックされていてもリモコンのボタンは動作します。

3-7-8. 言語

メニューに表示される言語を選択します。

言語は、全データリセットを行っても変更されません。

3-7-9. 全データリセット

本機に記憶されているすべての調整値および設定値を工場出荷状態に戻します。

ただし、言語、ネットワーク設定、テストパターン、および情報はリセットされません。

リセットの処理には多少時間がかかります。

3-8. 情報

本機の状態を表示します。

入力端子	投写中の入力端子名を表示します。
信号名	投写中の信号名を表示します。
ライト使用时间	ライト使用时间を表示します。
IP アドレス	本機の IP アドレスを表示します。
VERSION	ファームウェアのバージョン番号を表示します。
シリアル番号	シリアルナンバーを表示します。

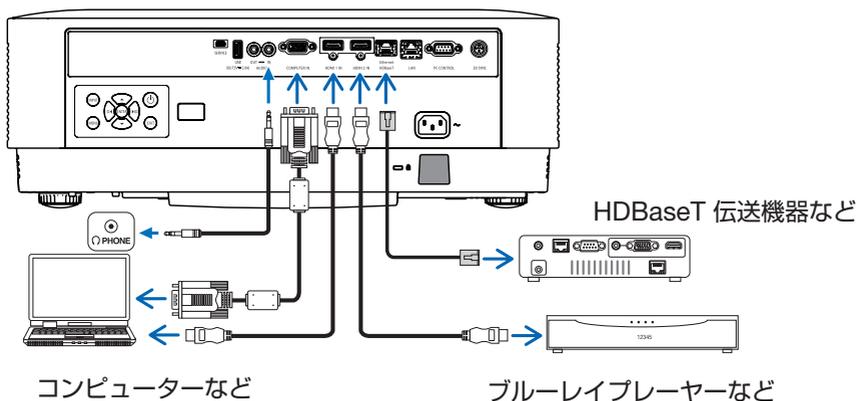
4. 機器と接続する

4-1. 外部機器と接続する

外部機器との接続例です。

【注意】

- コンピューターのミニ D-Sub15 ピンと接続する場合は、添付のコンピューターケーブルを使用してください。
市販の HDMI、LAN、RS-232C、オーディオについてはシールドタイプのケーブルを使用してください。
下記以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。



信号ケーブルに関する注意事項

HDMI ケーブル（市販）

- 認証済みの HIGH SPEED ケーブルまたは ETHERNET 対応 HIGHSPEED ケーブルを使用してください。
- 本機の HDMI 1 入力および HDMI 2 入力端子にブルーレイプレーヤーを接続している場合に、ブルーレイプレーヤーのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定できます。本機のオンスクリーンメニューの「入力」→「HDMI」→「ビデオレベル」で設定します。
ブルーレイプレーヤーのビデオレベルの設定については、ブルーレイプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。
- 本機は HDCP（不正コピー防止を目的とする著作権保護用システム）を装備しています。ただし、HDCP の規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していなくても、HDMI 1 入力および HDMI 2 入力端子の映像が表示されないことがあります。

LAN ケーブル（市販）

- カテゴリー 5e 以上のシールド付きツイストペア（STP）ケーブルを使用してください。

- 本機の HDBaseT/LAN ポートは、伝送機器からの HDMI 信号 (HDCP 対応)、外部機器からの制御信号 (シリアル、LAN)、リモコン信号 (IR コマンド) に対応しています。
- LAN ケーブルで伝送可能な距離は、最長 100m です。
- 本機と伝送装置との間に他の伝送装置を使用しないでください。画質が劣化することがあります。
- 本機は、市販のすべての HDBaseT 対応の伝送機器との接続を保証するものではありません。

コンピューターケーブル (市販)

- フェラライトコア付きのケーブルを使用してください。

DVI-D ケーブル (市販)

- フェラライトコア付きのケーブルを使用してください。

【注意】

- コンピューターや本機の電源を切ってから接続してください。
- 音声ケーブルをヘッドホン端子と接続する場合、接続する前にコンピューターの音量を低めに調整してください。そして、コンピューターと本機を接続して使用する際に、本機の音量とコンピューターの音量を相互に調整し、適切な音量にしてください。
- コンピューターにミニジャックタイプの音声出力端子がある場合は、その端子に音声ケーブルを接続することをおすすめします。
- 当社製のビデオユニット (型名 ISS-6020J) のビデオデコード出力には対応していません。
- スキャンコンバーターなどを介してビデオデッキを接続した場合、早送り・巻き戻し再生時に正常に表示できない場合があります。
- 接続機器によっては、接続している HDMI ケーブルを抜き差ししたときに HDMI 1 入力端子 (または HDMI 2 入力端子) の映像が映らなくなることがあります。そのときは、HDMI 1 入力端子 (または HDMI 2 入力端子) を再度選択してください。
- DVI (デジタル) 入力時の注意事項
 - DVI-HDMI 変換ケーブルは、DDWG Revision1.0 に準拠した 5 m 以内のものを使用してください。
 - DVI-HDMI 変換ケーブルを接続するときは、本機とコンピューターの電源が切れた状態で行ってください。
 - DVI (デジタル) 信号を投写する際は、ケーブル接続後、まず本機の電源を入れ、HDMI 入力を選択します。最後にコンピューターを起動してください。上記の手順どおりに操作しないと、映像が投写されないことがあります。映像が投写されない場合はコンピューターを再起動してください。
 - コンピューターのグラフィックカードによっては、アナログ RGB (D-Sub) と DVI (または DFP) の両端子を有するものがあります。この場合、D-Sub 端子に RGB 信号ケーブルを接続していると、DVI デジタル信号が出力されないものがあります。
 - 本機の電源が入っているときに信号ケーブルを抜かないでください。一度抜いて、再

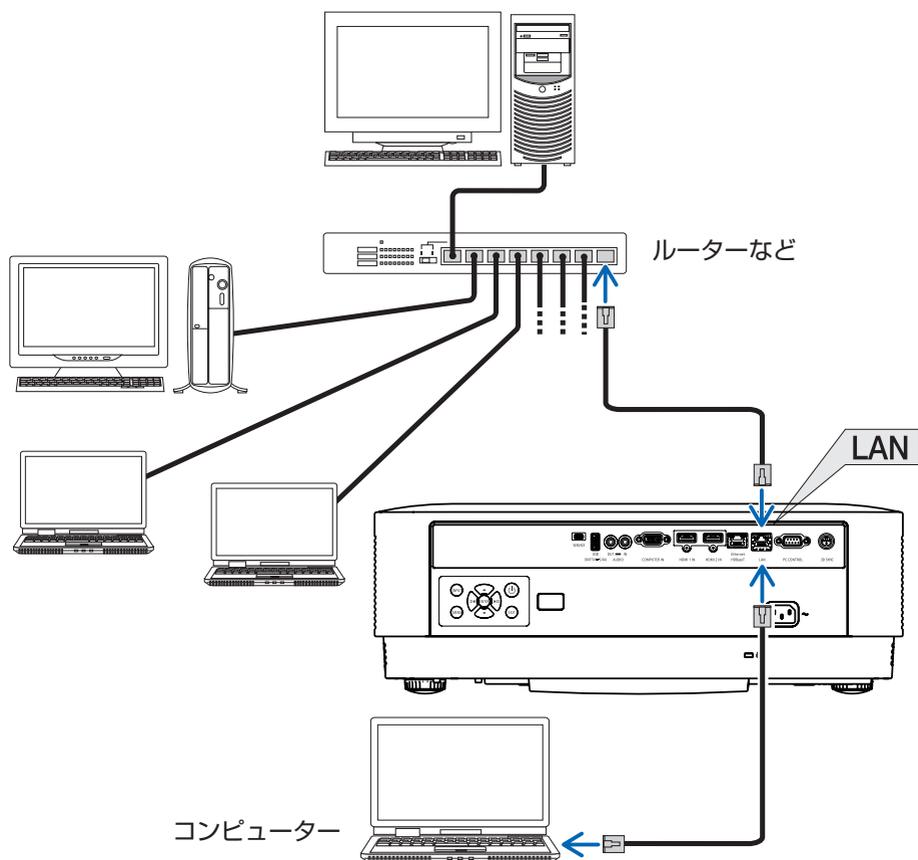
度接続した場合、映像が正常に投写されないことがあります。その場合はコンピューターを再起動してください。

5. 有線 LAN と接続する

5-1. 有線 LAN と接続する

本機を有線 LAN に接続すると、本機の HTTP サーバー機能を利用して、コンピュータでウェブブラウザを使用して本機を制御することができます。

接続例



5-2. HTTP サーバー機能

HTTP サーバー機能へアクセスするには

- ① 本機をルーターやコンピューターなどに市販の LAN ケーブルで接続します。
- ② 本機をネットワーク（有線 LAN）に接続するための設定を行います（オン
スクリーンメニューのネットワーク → 66 ページ）。
- ③ ネットワークで本機と接続されたコンピューターでウェブブラウザを起
動し、アドレスまたは URL の入力欄へ `http://〈本機の IP アドレス〉/
index.html` と指定します。

[参考]

- 工場出荷時の IP アドレス設定は、DHCP が「オン」になっています。

[注意]

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。
- ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
また続けてボタン操作を行うとプロジェクターが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作を行ってください。しばらく待っても応答がない場合は、本機の電源を入れなおしてください。
- ウェブブラウザでネットワーク設定画面が表示されない場合は、Ctrl + F5 キーを押してウェブブラウザの画面表示を更新してください。
- 本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用可能な設定をブラウザに対して行ってください。設定方法はバージョンにより異なりますので、それぞれのソフトにあるヘルプなどの説明を参照してください。
- プロキシサーバーについて
プロキシサーバーの種類や設定方法によっては、プロキシサーバーを経由したウェブブラウザ操作ができないことがあります。プロキシサーバーの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ウェブブラウザから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。プロキシサーバーはできるだけ使用しないことを推奨します。
- ウェブブラウザによる操作のアドレスの扱い
ウェブブラウザによる操作に際しアドレスまたは URL 欄に入力する実際のアドレスについてネットワーク管理者によってドメインネームサーバーへ本機の IP アドレ

スに対するホスト名が登録されている場合、または使用しているコンピューターの「HOSTS」ファイルに本機の IP アドレスに対するホスト名が設定されている場合には、ホスト名がそのまま利用できます。

(例 1) 本機のホスト名が「pj.nec.co.jp」と設定されている場合
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ
`http://pj.nec.co.jp/index.html` と指定します。

(例 2) 本機の IP アドレスが「192.168.73.1」の場合
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ
`http://192.168.73.1/index.html` と指定します。

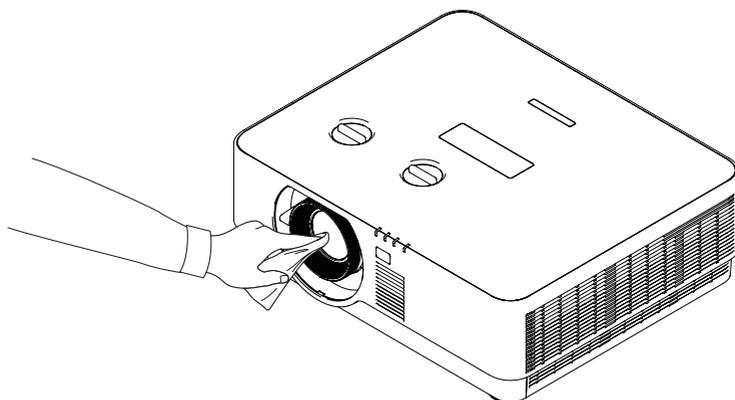
6. 本体のお手入れ

6-1. レンズの清掃

カメラのレンズと同じ方法で（市販のカメラ用ブローワーやメガネ用クリーニングペーパーを使って）クリーニングしてください。その際レンズを傷つけないようにご注意ください。



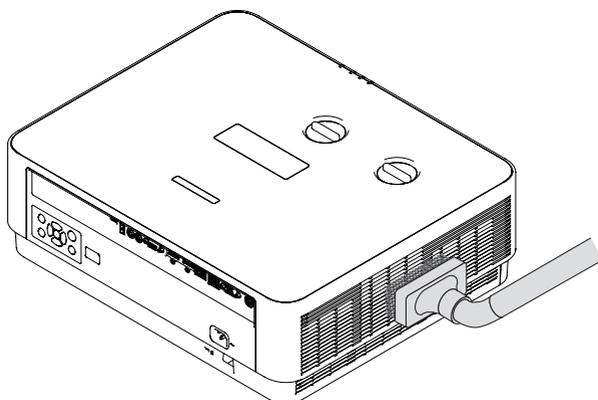
レンズなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。



6-2. キャビネットの清掃

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 毛羽立ちの少ないやわらかい乾いた布でふいてください。
汚れのひどいときは、水ですすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風口やスピーカー部のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプターを使用して吸い取ってください。なお、アダプターを付けずに直接当てたり、ノズルアダプターを使用することは避けてください。



通風口やスピーカー部のほこりを吸い取ります。

- 通風口にほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の清掃については、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

【注意】

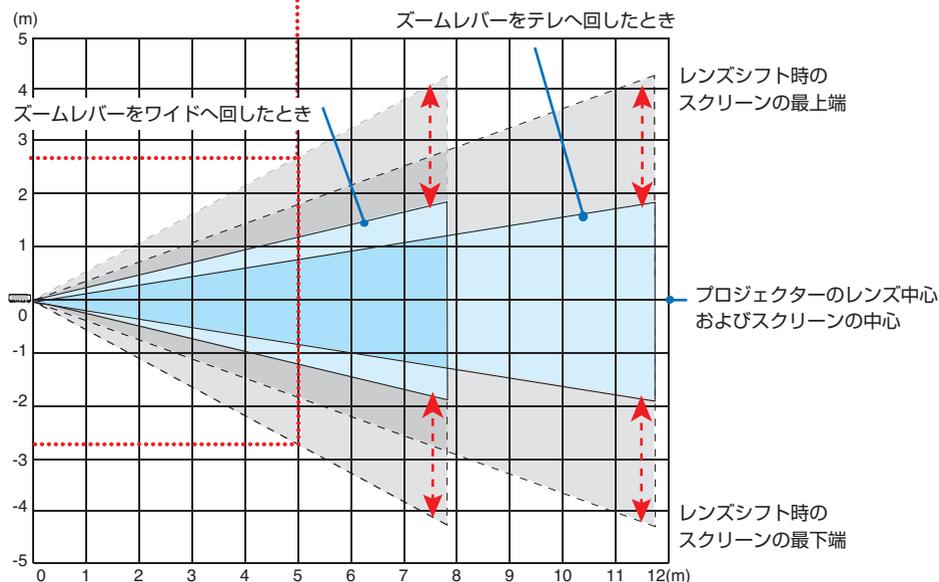
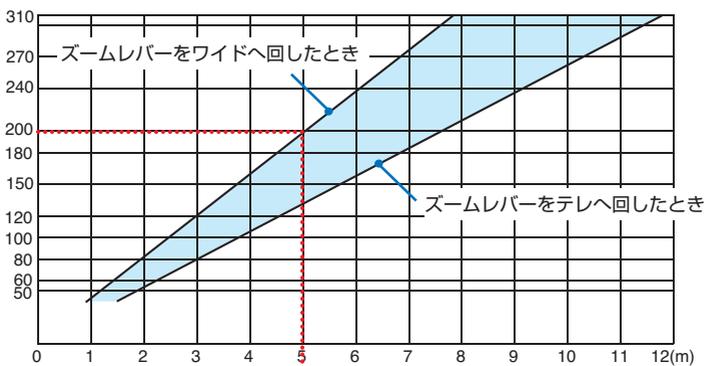
- キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

7. 付録

7-1. 投写距離とスクリーンサイズ

この場所に設置するとどのくらいの画面サイズになるか、どのくらいのスクリーンを用意すればいいのか、また、目的の大きさで投写するにはどのくらいの距離が必要かを知りたいときの目安にしてください。

フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から 1.2m（50 型の場合）～ 11.7m（310 型の場合）です。この範囲で設置してください。



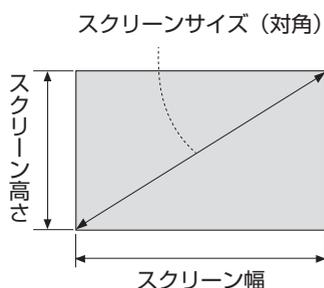
【前ページの表のみかた】

前ページの表は、プロジェクターを水平に設置したときの投写範囲を表しています。上の表より 200 型スクリーンにワイドで投写するとき、5m 付近に設置することになります。

また、下の表はプロジェクターのレンズ中心からスクリーンの上端と下端のを表しており、レンズシフトを行うことで、約± 2.75m の範囲で投写できます。

プロジェクターから天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。投写画面はレンズシフトにより上下左右に移動できます。(→ 82 ページ)

スクリーンサイズと寸法表



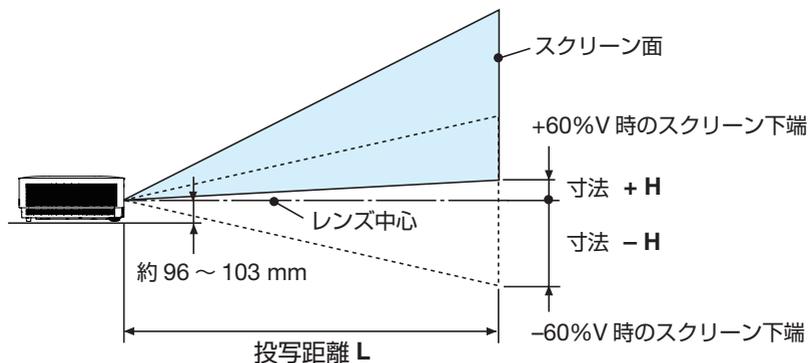
スクリーンサイズ		スクリーン幅 (cm)	スクリーンの高さ (cm)
(型)	(cm)		
50	127.0	110.7	62.3
60	152.4	132.8	74.7
70	177.8	155.0	87.2
80	203.2	177.1	99.6
90	228.6	199.2	112.1
100	254.0	221.4	124.5
120	304.8	265.7	149.4
150	381.0	332.1	186.8
180	457.2	398.5	224.1
200	508.0	442.8	249.1
240	609.6	531.3	298.9
270	685.8	597.7	336.2
310	787.4	686.3	386.0

デスクトップの例

下の図はデスクトップで使用する時の例です。

水平投写位置……レンズを中心に左右均等

垂直投写位置……（下表参照）



(注) レンズ中心からスクリーン下端までの高さ（チルトフットを縮めた状態）

スクリーンサイズ (型)	投写距離 L (m)		寸法 H (cm)
	ワイド時	テレ時	-60%V ~ +60%V
50	1.23	1.86	-68.5 ~ +6.2
60	1.48	2.24	-82.2 ~ +7.5
70	1.73	2.62	-95.9 ~ +8.7
80	1.99	2.99	-109.6 ~ +10.0
90	2.24	3.37	-123.3 ~ +11.2
100	2.49	3.75	-137.0 ~ +12.5
120	3.00	4.51	-164.4 ~ +14.9
150	3.76	5.65	-205.5 ~ +18.7
180	4.52	6.78	-246.6 ~ +22.4
200	5.02	7.54	-274.0 ~ +24.9
240	6.04	9.06	-328.7 ~ +29.9
270	6.80	10.20	-369.8 ~ +33.6
310	7.81	11.71	-424.6 ~ +38.6

(計算例) 150 インチで投写している場合

「スクリーンサイズと寸法表」(→ 80 ページ) のスクリーン表により $H=332.1\text{cm}$ 、 $V=186.8\text{cm}$ になります。

垂直方向の調整範囲：上方向 $1.2 \times 186.8\text{cm} \doteq 224\text{cm}$ 、投写画面を移動することができます (レンズが中心位置の場合)。

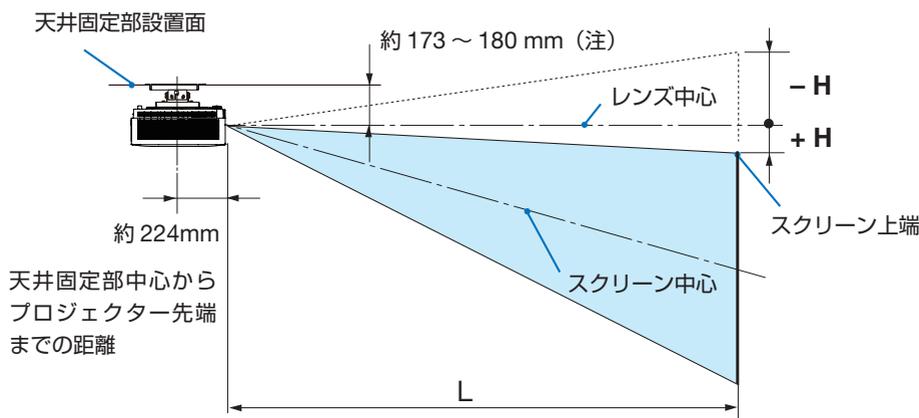
水平方向の調整範囲：左方向 $0.20 \times 332.1\text{cm} \doteq 66\text{cm}$ 、右方向も同様に約 66cm 投写画面を移動することができます。

※簡易計算式のため数%の誤差があります。

[参考]

- 天吊り金具 (別売) 設置時の投写距離について
投写距離 (L)、寸法 (H) はデスクトップの例と同じです。
レンズシフトについては 43 ページをご覧ください。
天井固定部の寸法およびプロジェクター取り付け時の寸法は 91 ページをご覧ください。

(注) 天井固定部設置面からレンズ中心までの高さ
レンズシフト位置により高さは可変
(プロジェクター取付けアダプターの上下角度 0° 時)



- 記載の数値は設計値のため誤差が生じることがあります。

7-2. 対応解像度一覧

アナログ RGB

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 x 480	4:3	60
SVGA	800 x 600	4:3	60
XGA	1024 x 768	4:3	60
WXGA	1280 x 768	15:9	60
Quad-VGA	1280 x 960	4:3	60
SXGA	1280 x 1024	5:4	60
SXGA+	1400 x 1050	4:3	60
WXGA+	1440 x 900	16:10	60
UXGA	1600 x 1200	4:3	60
WSXGA+	1680 x 1050	16:10	60
HD	1280 x 720	16:9	60
Full HD	1920 x 1080	16:9	60

HDMI

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 x 480	4:3	59.94/60/72/75
VGA	720 x 400	9:5	70
SDTV (480p)	720 x 480	4:3/16:9	59.94
SDTV (480i)	720 x 480	4:3/16:9	59.94
SDTV (576i)	720 x 576	4:3/16:9	50
SDTV (576p)	720 x 576	4:3/16:9	50
SVGA	800 x 600	4:3	60/72/75
XGA	1024 x 768	4:3	60/70/75
HDTV (720p)	1280 x 720	16:9	50/59.94/60
WXGA	1280 x 768	5:3	60
Quad-VGA	1280 x 960	4:3	60
SXGA	1280 x 1024	5:4	60
SXGA+	1400 x 1050	4:3	60
WXGA+	1440 x 900	16:10	60

UXGA	1600 x 1200	4:3	60
WSXGA+	1680 x 1050	16:10	60
HDTV(1080i)	1920 x 1080	16:9	50/59.94
HDTV (1080p)	1920 x 1080	16:9	23.94/25/29.97 /50/59.94/60
WUXGA	1920 x 1200	16:10	60
4K UHD	3840 x 2160	16:9	23.98/25/29.97 /50/59.94
4K2K	4096 x 2160	17:9	23.94/25/29.97 /50/59.94

HDBaseT

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 x 480	4:3	59.94/60/72/75
VGA	720 x 400	9:5	70
SDTV (480p)	720 x 480	4:3/16:9	59.94
SDTV (480i)	720 x 480	4:3/16:9	59.94
SDTV (576i)	720 x 576	4:3/16:9	50
SDTV (576p)	720 x 576	4:3/16:9	50
SVGA	800 x 600	4:3	60/72/75
XGA	1024 x 768	4:3	60/70/75
HDTV (720p)	1280 x 720	16:9	50/59.94/60
WXGA	1280 x 768	15:9	60
Quad-VGA	1280 x 960	4:3	60
SXGA	1280 x 1024	5:4	60
SXGA+	1400 x 1050	4:3	60
WXGA+	1440 x 900	16:10	60
UXGA	1600 x 1200	4:3	60
WSXGA+	1680 x 1050	16:10	60
HDTV(1080i)	1920 x 1080	16:9	50/59.94
HDTV (1080p)	1920 x 1080	16:9	23.94/25/29.97 /50/59.94/60
WUXGA	1920 x 1200	16:10	60
4K UHD	3840 x 2160	16:9	23.98/25/29.9

3D

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)	3D フォーマット
HD	1280 X 720P	16:9	50	Top - and - Bottom
HD	1280 X 720P	16:9	60	Top - and - Bottom
HD	1280 X 720P	16:9	50	Frame packing
HD	1280 X 720P	16:9	60	Frame packing
Full HD	1920 X 1080i	16:9	50	Side- by-Side (Half)
Full HD	1920 X 1080i	16:9	60	Side- by-Side (Half)
Full HD	1920 X 1080P	16:9	24	Top - and - Bottom
Full HD	1920 X 1080P	16:9	24	Frame packing

【注意】

- オンスクリーンメニューのアスペクトを「フィル」に設定しているときは正しく表示できないことがあります。本機の工場出荷時は「フィル」に設定しています。該当する解像度の信号を投写するときは、アスペクトを「4:3」または「16:9」に設定してください。
- 出荷時はその表示解像度／周波数の標準的な信号に合わせていますが、コンピューターの種類によっては調整が必要な場合があります。
- コンピューター信号は、セパレート同期信号のみ対応しています。

7-3. 仕様

型名		NP-P506QLJD	
方式		1 チップ DLP 方式	
主要 部 品 仕 様	DMD パネル	サイズ	0.47 型 (11.93mm)、アスペクト比 16:9
		画素数 ^{(*)1}	2,073,600 画素 (1920 x 1080)
	投写レンズ	F=1.8 ~ 2.4、f=12.1 ~ 18.1mm	
		ズーム	マニュアル (ズーム比 1.5 倍)
		フォーカス	マニュアル
		レンズシフト	水平 : ± 20% 垂直 : ± 60%
	光源	レーザーダイオード	
光学装置	カラーフィルター回転による色分解		
表示解像度		8,294,400 画素 (3840 × 2160)	
明るさ ^{(*)2} ^{(*)3}		5000lm	
コントラスト比 ^{(*)2} (全白 / 全黒)		500,000:1 (ダイナミックコントラスト「オン」のとき)	
画面サイズ (投写距離)		50 ~ 310 型 (1.2 ~ 11.7m)	
色再現性		10ビット カラープロセッシング (約 10 億 7000 万色)	
音声出力		10W モノラルスピーカー内蔵	
走査周波数	水平	15 ~ 100kHz (RGB 入力 は 24kHz 以上)	
	垂直	50 ~ 120Hz	
主な調整機能		マニュアルズーム、マニュアルフォーカス、マニュアルレンズシフト、入力信号切替 (HDMI 1 / HDMI 2 / コンピューター / HDBaseT、画面拡大、ミュート (映像)、電源オン / スタンバイ、オンスクリーン表示 / 選択など)	
最大表示解像度		アナログ : 1920 × 1080 デジタル : 3840 × 2160	
入 力 信 号	R,G,B,H,V	RGB:0.7Vp-p / 75 Ω	
		H/V Sync:4.0Vp-p/TTL Composite Sync:4.0Vp-p/TTL	
	音声	0.5Vrms / 22k Ω以上	

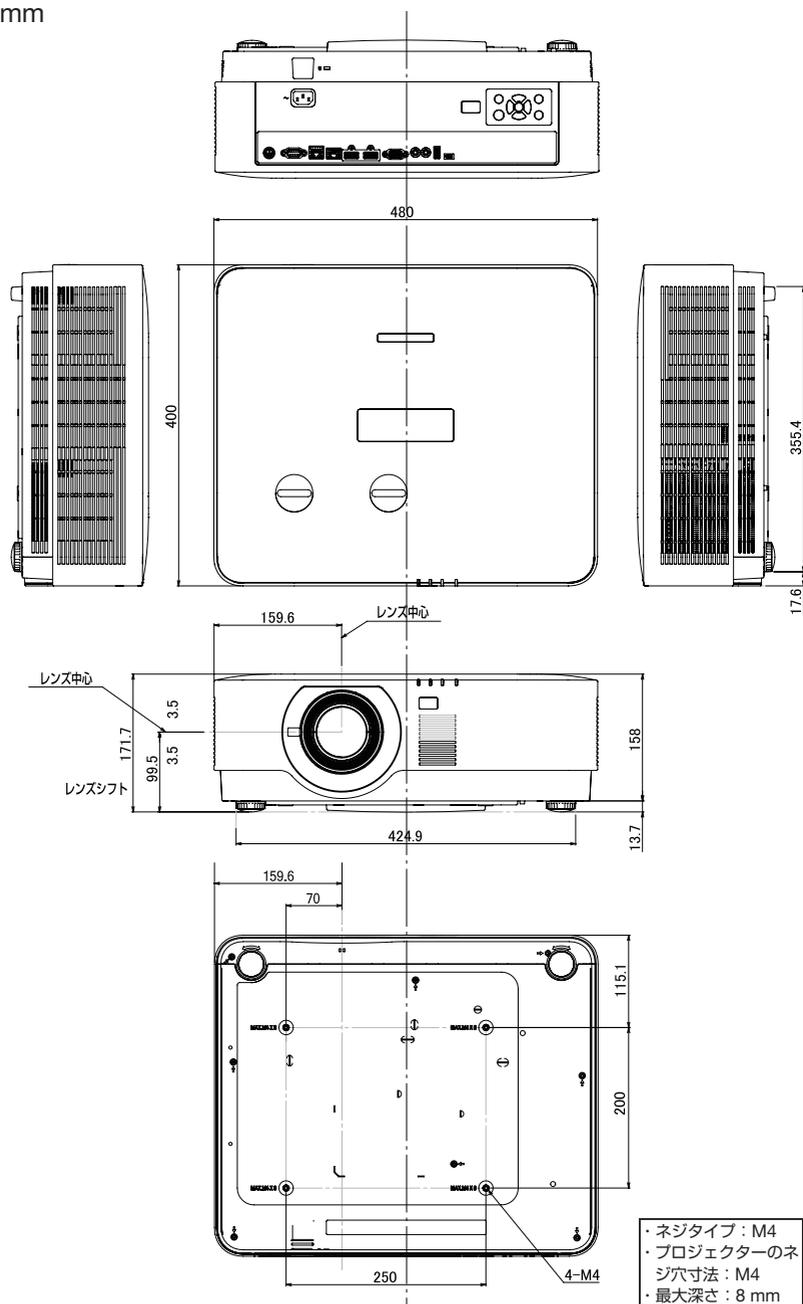
入出力端子	コンピューター	映像入力	ミニ D-Sub 15 ピン × 1
		音声入力	ステレオミニジャック × 1
	音声	出力	ステレオミニジャック × 1 (コンピューター)
		HDMI	映像入力
	Ethernet/ HDBaseT	映像入力	HDMI® (LPCM サンプリング周波数 32/44.1/48KHz)
		音声入力	RJ-45 × 1、100BASE-TX 対応 Deep Color (ディープカラー：色深度)： 8/10/12 ビット対応 Colorimetry：RGB、YCbCr444、YCbCr422 対応 LipSync 対応、HDCP 対応 (*4)
	LAN		サンプリング周波数：32/44.1/48KHz サンプリングビット：16/20/24bit
	PC コントロール		RJ-45 × 1、100BASE-TX 対応
	USB		D-Sub 9 ピン × 1、通信速度 9600bps
	サービス		USB タイプ A × 1、電源供給 5.0V/2.0A
使用環境			mini USB (mini B) × 1
			動作温度：0 ~ 40°C (*5) 動作湿度：20 ~ 80% (ただし、結露しないこと)
			保存温度：- 20 ~ 60°C 保存湿度：20 ~ 80% (ただし、結露しないこと)
			動作高度：0 ~ 2500m (1600 ~ 2500m はファンモード「高地」)
電源			AC 100V 50/60Hz (*6)
消費電力 (動作時) →エコモード	ノーマル時		580W
	エコ時		330W
消費電力 (スタンバイ時) →スタンバイモード	ノーマル時		0.5W
	ネットワークスタンバイ時		2.0W
	HDBaseT 時		6.5W 未満
定格入力電流			6A
外形寸法			480 (幅) × 158 (高) × 400 (奥行) mm (突起部含まず)
			480 (幅) × 172 (高) × 400 (奥行) mm (突起部含む)
質量			11.5kg

- (*1)：有効画素数は 99.99%です。
- (*2)：JIS X6911:2015 データプロジェクターの仕様書様式にそって記載しています。測定方法、測定条件については、附属書 2 に基づいています。
- (*3)：エコモードが「ノーマル」、参照が「高輝度モード」のときの明るさです。
エコモードを「エコ」にすると明るさが低下します（エコ：約 60%）。また、参照で他のモードを選択すると明るさが多少低下します。
- (*4)：HDCP/HDCP 技術とは？
HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、HDMI、HDBaseT を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。
HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。
本機の HDMI 1/2 入力端子、HDBaseT ポートは、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを投写することができます。
ただし、HDCP の規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していなくても、HDMI 1/2 入力端子、HDBaseT ポートの映像が表示されないことがあります。
映像：DeepColor (ディープカラー：色深度)：8/10/12 ビット、LipSync
音声：LPCM; チャンネル数；2ch、サンプリング周波数：32/44.1/48KHz、
サンプリングビット：16/20/24 ビット
HDMI：HDCP 2.2 に対応
HDBaseT：HDCP 1.4 に対応
- (*5)：35℃以上では「強制エコモード」になります。
- (*6)：高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品。

・この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

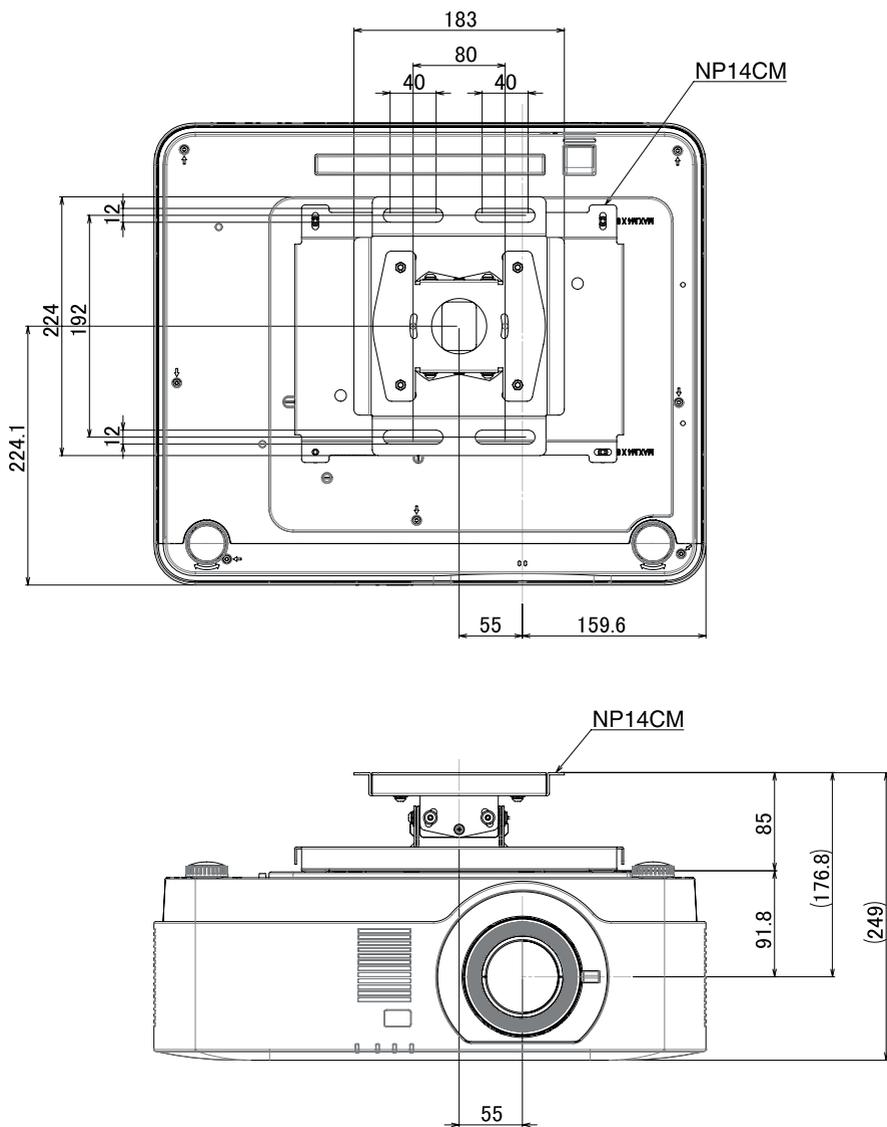
7-4. 外観図

単位：mm



天吊り金具（別売）取り付け図

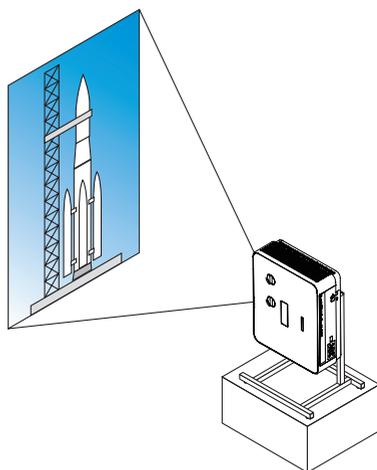
単位：mm



(注) 左右 0°、上下 0°、傾き 0°、上下位置中心時の寸法です。

7-5. ポートレート（縦向き）投写について

本機を縦設置することでコンピューターなどのポートレート画面を投写することができます。



設置上のご注意

- 床や台の上に本体をそのまま縦向きで設置しないでください。吸気口または排気口がふさがれ、本体が高温になり火災や故障の原因となります。
- 本体を支えるスタンドを必ず製作してください。このとき本体の重心がスタンド脚の内側に十分入る様に設計してください。転倒して故障や破損、けがの原因となります。
- プロジェクター本体やスタンドに不具合が発生した場合を想定して、落下防止の対応を行ってください。

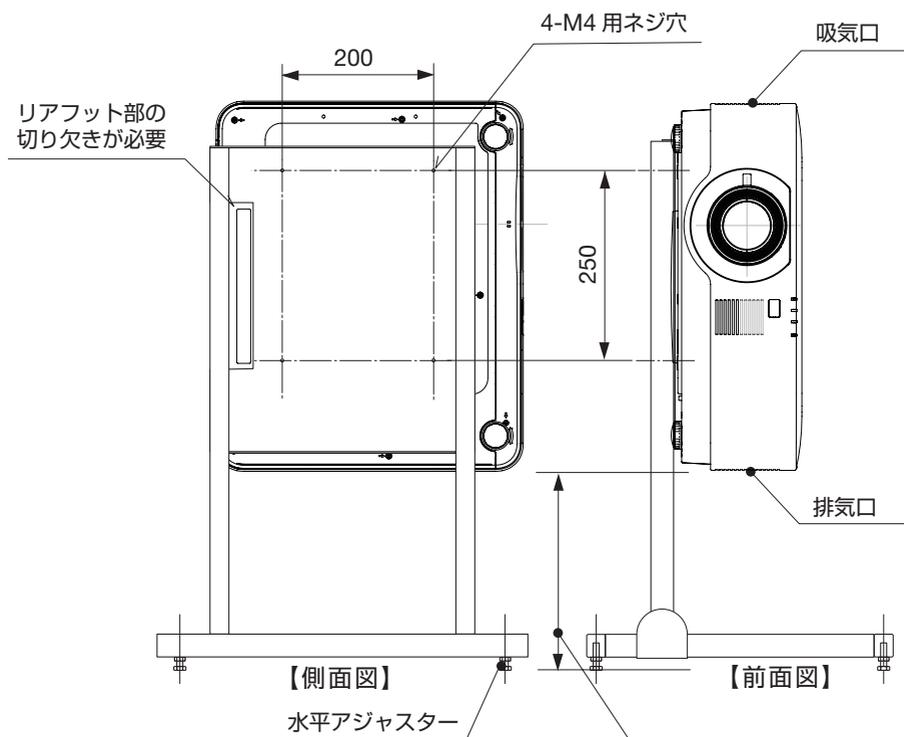
スタンド設計製作の条件

ポートレート投写をするには専用のスタンドをプロジェクター設置業者にご依頼ください（有料）。設計に際しては次のことをお守りください。

1. 排気口を下向きにする場合は、床と本体排気口の距離を 200mm 以上確保してください。
本体側面の吸気口をパネルなどで塞がないでください。
2. 本体底面にある 4 箇所のネジ穴を使ってスタンドと固定してください。
ネジ穴センター寸法：200 × 250mm
本体のネジ穴寸法：M4 ネジ最大深さ 8mm
※ 本体底面後部のリアフットがスタンドにぶつからないように設計してください。
チルトフットは回して外すことができます。
3. 水平調整機構（たとえばボルトとナット：4 箇所）
4. スタンドは容易に転倒しないよう設計してください。

参考図 ※寸法条件を表す図で、実際のスタンドの設計図ではありません。

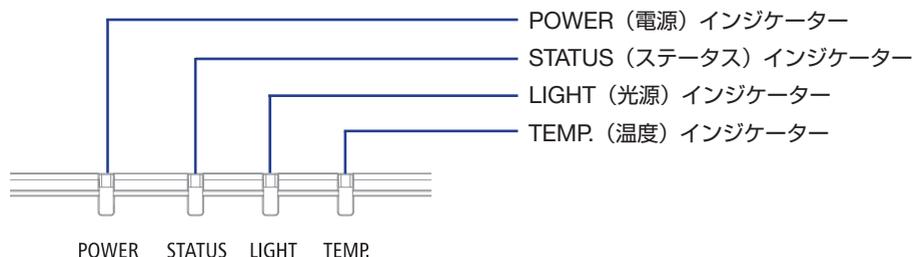
(単位：mm)



排気口を下向きにする場合は、床と本体排気口の距離を 200mm 以上確保してください。

7-6. インジケータ表示一覧

本体操作部の4つのインジケータが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。



● 通常のインジケータ表示

電源	ステータス	光源	温度	本機の状態
 (消灯)	 (消灯)	 (消灯)	 (消灯)	電源がオフ状態
 オレンジ色 (長い点滅)	 (消灯)	 (消灯)	 (消灯)	スタンバイ状態 (スタンバイモードが「ノーマル」)
 オレンジ色 (点灯)	 (消灯)	 (消灯)	 (消灯)	スタンバイ状態 (スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」)
 緑色 (点灯)	 (消灯)	 (消灯)	 (消灯)	スタンバイ状態 (スタンバイモードが「HDBaseT」)
 青色 (短い点滅)	 (消灯)	 (消灯)	 (消灯)	電源オン準備中
 青色 (長い点滅)	 (消灯)	(各状態)	 (消灯)	オフタイマー有効状態 (電源オン状態)

電源	ステータス	光源	温度	本機の状態
 青色（点灯）	 （消灯）	 緑色（点灯）	 （消灯）	電源オン状態
 青色（点灯）	 オレンジ色 （点滅）	（各状態）	 （消灯）	本体キーロック中に本体のボタンを押したとき。
（各状態）	（各状態）	 オレンジ色 （点灯）	 オレンジ色 （点灯）	周囲温度が高くなっています。室温を下げてください。

● 異常時のインジケータ表示

電源	ステータス	光源	温度	本機の状態
 赤色（点滅）	 （消灯）	 （消灯）	 （消灯）	本機内部の温度が異常に高くなったため、温度プロテクターが働きました。下記の説明をご覧ください。
 赤色（点滅）	 緑色（点灯）	 赤色（点灯）	 （消灯）	ハードウェアの異常です。NEC プロジェクター・カスタムサポートセンターへ修理を依頼してください。
 赤色（点滅）	 赤色（点灯）	 緑色（点灯）	 （消灯）	
 赤色（点灯）	（各状態）	（各状態）	（各状態）	

● 温度プロテクターが働いたときは

本機内部の温度が異常に高くなると、光源が消灯し、電源インジケータが赤色で点滅します。

同時に本機の温度プロテクター機能が働いて、本機の電源が切れることがあります。

このようなときは、以下のことを行ってください。

- 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- 通風口にほこりがたまっていたら、清掃してください。（→ 78 ページ）
- 本機内部の温度が下がるまで、約 1 時間そのままにしてください。

7-7. 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときは NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

現象と確認事項

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	37
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	95
	標高約 1600m 以上の高地で本機を使用していますか。 高地で使用する場合はオンスクリーンメニューのファンモードで「高地」を選択してください。 高地で本機を使用する場合にファンモードで「高地」を選択していないと、温度プロテクターが働き、自動的に電源が切れることがあります。さらに、光源が消灯後光源の温度が上昇するため、温度プロテクターが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。	67 95
	上記の電源コードの接続、本機の内部温度上昇などが原因として考えられない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	—
使用中に電源が切れる	オンスクリーンメニューのオートパワーオフまたはオフタイマーを「オン（時間を選択）」にしていますか。	68
映像が出ない	接続している入力を選んでいますか。本体またはリモコンの入力切替ボタンを押して一度他の入力に切り替えたあと、再度入力切替ボタンを押して投写する入力を選択してください。	40
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	28
	調整のコントラスト、明るさが最小になっていませんか。	62
	AV ミュートボタンが押されていませんか。	31

このようなとき	確認してください	参照ページ
映像が出ない	コンピューター信号（RGB）の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 コンピューターの解像度を確認してください。	84
	コンピューター信号（RGB）の場合、画面調整を正しく行っていますか。	57
	コンピューターの画面がうまく投写できない場合は、99 ページをご覧ください。	—
	HDMI 1/2 入力端子の映像がうまく投写できない場合は次の点をご確認ください。 お使いのコンピューターに内蔵されているグラフィックボードのドライバーを再インストールください。または最新のバージョンアップを適用してください。 再インストール、最新のバージョンアップに関しては、コンピューター、グラフィックボードの取扱説明書を参照いただくか、コンピューターのサポート窓口にお問い合わせください。 なお、最新ドライバーや最新 OS のインストールは、お客様の責任において行っていただきますようお願いいたします。これらインストールに起因するトラブル、不具合については一切の責任を負わないものとします。	—
	HDBaseT 対応伝送機器によっては信号が対応していない場合があります。また IR、RS-232C が対応できない場合があります。	—
	各設定が正しく調整・設定されていますか。	—
	それでも解決しない場合は、リセットを行ってください。	69
	標高約 1600m 未満であっても高地で使用している場合、温度プロテクターが働いて、自動的に消灯することがあります。そのときはファンモードを「高地」に設定してください。	67
映像が歪む	正しく設置されていますか。	42
	台形状に歪む場合は台形補正を行ってください。	47
映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。	44
	投写画面と本機が正しい角度で設置されていますか。	79
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	81

このようなとき	確認してください	参照ページ
映像がぼやける	レンズシフトの移動量が保証範囲を超えていませんか。	43
	レンズなどが結露していませんか。 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れると投写窓や内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	—
映像が乱れる	本機に接続している信号ケーブルが断線していませんか。	—
映像が突然暗くなった	室温が高いため、強制エコモードになっていませんか。	—
水平または垂直方向に映像がずれて正常に表示されない	コンピューター信号（RGB）の場合、水平、垂直を正しく調整しましたか。	57
	コンピューター信号（RGB）の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 コンピューターの解像度を確認してください。	84
リモコンで操作できない	リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	34
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	33
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。	34
	リモコンの有効範囲（7m）を超えていませんか。	34
インジケーターが点滅する	インジケーター表示一覧をご覧ください。	94
本機の動作が不安定になる	電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約5分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	—

コンピューターの画面がうまく投写できない場合

コンピューターを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認ください。

●コンピューターの起動のタイミング

コンピューターと本機をコンピューターケーブルで接続し、本機とコンセントを電源コードで接続して本機をスタンバイ状態にしてから、コンピューターを起動してください。特にノートブックコンピューターの場合、接続してからコンピューターを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。

●コンピューターの起動後に操作が必要な場合

ノートブックコンピューターの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります（ノートブックコンピューター自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません）。

[参考]

- Windows のノートブックコンピューターの場合は、キーと 12 個のファンクションキーのいずれかとの組み合わせで、外部出力の有効 / 無効を切り替えます。

【コンピューターメーカーとキー操作の例】

Fn + F3	NEC
Fn + F8	DELL

※詳しい操作は、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

- Apple の MacBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。

●ノートブックコンピューターの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノートブックコンピューターの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。

多くの場合、ノートブックコンピューターの制限（コンピューター自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない）によることが考えられます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れている場合、調整を行っても正常に表示されないことがあります。

上記の場合は、ノートブックコンピューターの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする（液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い）操作を行うと、外部出力信号が標準規格に合った信号になることがあります。

●Mac を起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

Mac 用信号アダプター（市販）を使って接続したとき、ディップスイッチの設定を、Mac および本機の対応外の表示モードにした場合、表示が乱れたり、何も表示できなくなることがあります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを 13 インチ固定モードに設定し、Mac を再起動してください。そのあと表示可能なモードに変更して、もう一度再起動してください。

● MacBook と本機を同時に表示させる場合

MacBook ディスプレイのビデオミラーリングを「切」にしないと外部出力を本機の表示解像度に設定できないことがあります。

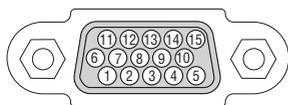
● Mac の投写画面からフォルダーなどが切れている場合

Mac に接続していたディスプレイを本機より高い解像度で使用していた場合、本機で投写した画面では、画面の隅にあったアイコンなどが画面からはみ出したり消えたりすることがあります。このような場合は、Mac の Finder 画面で option キーを押した状態で「表示」→「整頓する」を選択してください。はみ出したり消えたりしたアイコンが画面内に移動します。

7-8. 主な端子のピン配置と信号名

● コンピューター映像入力端子（ミニ D-Sub 15 ピン）

各ピンの接続と信号レベル



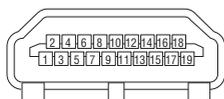
信号レベル

ビデオ信号：0.7Vp-p（アナログ）

同期信号：TTL レベル

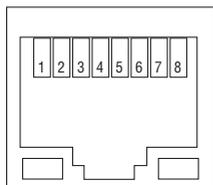
ピン番号	RGB 信号（アナログ）	YCbCr 信号	
1	赤	Cr	
2	緑またはシンクオングリーン	Y	
3	青	Cb	
4	接 地		
5	接 地		
6	赤 接 地	Cr	接 地
7	緑 接 地	Y	接 地
8	青 接 地	Cb	接 地
9	Hotplug		
10	同期信号 接 地		
11	非接続		
12	Bi-directional DATA (SDA)		
13	水平またはコンポジット同期		
14	垂直同期		
15	Data Clock		

● HDMI IN 1/2 端子（タイプ A）



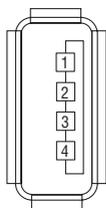
ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	TMDS データ 2 +	11	TMDS クロック シールド
2	TMDS データ 2 シールド	12	TMDS クロック-
3	TMDS データ 2 -	13	CEC
4	TMDS データ 1 +	14	非接続
5	TMDS データ 1 シールド	15	SCL
6	TMDS データ 1 -	16	SDA
7	TMDS データ 0 +	17	DDC/CEC 接地
8	TMDS データ 0 シールド	18	+ 5V 電源
9	TMDS データ 0 -	19	ホットプラグ検出
10	TMDS クロック+		

● Ethernet/HDBaseT ポート / LAN ポート (RJ-45)



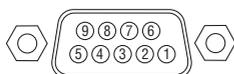
ピン番号	信号
1	TxD + / HDBT0 +
2	TxD - / HDBT0 -
3	RxD + / HDBT1 +
4	非接続 / HDBT2 +
5	非接続 / HDBT2 -
6	RxD - / HDBT1 -
7	非接続 / HDBT3 +
8	非接続 / HDBT3 -

● USB ポート (USB タイプ A)



ピン番号	信号
1	VBUS
2	D -
3	D +
4	接地

● PC コントロール端子 (D-Sub 9 ピン)



ピン番号	信号
1	未使用
2	RxD 受信データ
3	TxD 送信データ
4	未使用
5	接地
6	未使用
7	RTS 送信要求
8	CTS 送信可
9	未使用

7-9. トラブルチェックシート

発生頻度 常時 時々 (回中 回) その他()

電源関係

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 電源が入らない (電源インジケータが青色に点灯しない)。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。 <input type="checkbox"/> ④ ボタンを押しても電源が入らない。 | <input type="checkbox"/> 使用中、電源が切れる。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。 <input type="checkbox"/> オートパワーオフは「オフ」に設定されている。 <input type="checkbox"/> オフタイマーは「オフ」に設定されている。 |
|--|--|

映像・音声関係

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> コンピューターの画面が投写されない。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> コンピューターと本機を接続したあとにコンピューターを起動してもなおらない。 <input type="checkbox"/> ノートブックコンピューターにおいて外部出力信号が出力されている。
Windowsの場合は、[Fn]キー+[F1]~[F12]キーのいずれかを押しと外部出力信号が出力されます(コンピューターによって異なります)。 | <input type="checkbox"/> 映像が歪む。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 台形に歪む(台形補正を実行してもなおらない)。 |
| <input type="checkbox"/> 映像が出ない(ブルーバック・表示なし)。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。 <input type="checkbox"/> 入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。 <input type="checkbox"/> 画面に何かメッセージが出ている。
() <input type="checkbox"/> 接続している入力を選択している。 <input type="checkbox"/> 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。 <input type="checkbox"/> 入力是对応している解像度・周波数の信号である。 | <input type="checkbox"/> 映像が切れる。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。 <input type="checkbox"/> 水平または垂直方向に映像がずれる。 <input type="checkbox"/> コンピューター映像入力の場合、水平位置・垂直位置は正しく調整されている。 <input type="checkbox"/> 入力是对応している解像度・周波数の信号である。 <input type="checkbox"/> 数ドット欠けている。 |
| <input type="checkbox"/> 映像が暗い。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。 | <input type="checkbox"/> 映像がちらつく。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。 <input type="checkbox"/> コンピューター映像入力で文字がちらついたり、色がずれている。 <input type="checkbox"/> ファンモードを「高地」から「ノーマル」にしてもなおらない。 |
| <input type="checkbox"/> リモコンが利かない。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。 <input type="checkbox"/> 蛍光灯の近くに本体が設置されている。 | <input type="checkbox"/> 映像がぼやける・フォーカスが合わない。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 音声が出ない。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 音声入力端子にケーブルがしっかり挿入されている。 <input type="checkbox"/> 音量を調整してもなおらない。 |
| <input type="checkbox"/> 本体操作パネルのボタンが利かない。
本体キーロック設定のある機種において <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 本体キーロック設定は「オフ」または「無効」に設定されている。 | |

症状を具体的に記入してください。

使用状況・環境

プロジェクター

型名: NP-P506QLJD

製造番号:

購入時期:

ライト使用時間:

エコモード: ノーマル エコ

入力信号情報:

水平同期周波数 [kHz]

垂直同期周波数 [Hz]

同期極性 H (+) (-)

V (+) (-)

同期形態 セパレート ミックス

Gシンク

ステータスインジケータの状態

点灯 (オレンジ・緑)

点滅 (回周期)

設置環境

スクリーンサイズ: 型
 タイプ: ホワイトマット ビーズ 偏光
 広視野角 ハイコントラスト

投写距離: m

投写方法: 天吊り 床置き

電源コンセントは?

壁からのコンセントを直接利用している。

電源用テーブルタップを利用している。
 (他、接続機器の数: 台)

電源ドラム (ロール式) を利用している。
 (他、接続機器の数: 台)

コンピューター

メーカー:

型名:

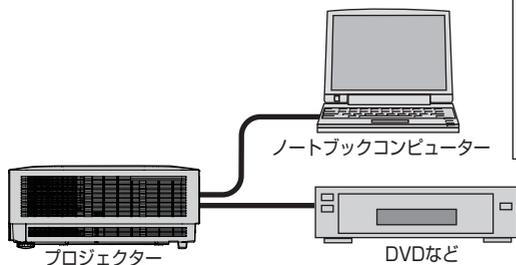
ノートブックコンピューター・デスクトップ一体型

解像度:

リフレッシュレート:

ビデオボード:

その他:



信号ケーブル

純正・その他
 (型名: 長さ: m)

分配器
 型名:

スイッチャー
 型名:

アダプター
 型名:

接続機器

ビデオ・DVD・カメラ・ゲーム・その他

メーカー:

型名:

7-10. 別売品

商 品 名		型 名
天吊り金具	天井用取付けユニット	NP14CM

この他の別売品については、当社プロジェクター総合カタログをご覧ください。

保証と修理サービス（必ずお読みください）

保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのと大切に保存してください。

●保証期間

保証書をご覧ください。（ただし、定期交換部品、消耗品、添付品は除く）

補修用性能部品の保有期間

当社は、このプロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、5年保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（→[裏表紙](#)）にお願いいたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（→[96 ページ](#)）に従って調べていただき、あわせて「トラブルチェックシート」（→[103 ページ](#)、[104 ページ](#)）で現象を確認してください。その上でなお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

●修理形態

保証書をご覧ください。

●保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証書の規定に従って NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターが修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	NEC プロジェクター
型名	NP-P506QLJD
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	
お名前	法人名、ご担当社名
電話番号	

お買い上げ店名 および電話番号	
--------------------	--

プロジェクターに関するお問い合わせから修理のご依頼まで プロジェクターの
トータルサポート窓口

NECプロジェクター・カスタマサポートセンター

- NEC製プロジェクターに関するお問い合わせや修理のご依頼を専任スタッフがお受けいたします。

TEL **0120-610-161** FAX 0120-134-516

受付時間 9:00～18:00（土・日・祝日、その他特定日を除く）

通話料無料：携帯電話／PHSからでもご利用いただけます。

ホームページ <https://www.nec-display.com/jp/support/projector/>

シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社